F-01B

取扱説明書　'09.11

docomo PRIME series

ドコモ　W-CDMA・GSM/GPRS 方式

このたびは、「docomo PRIME series F-01B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
F-01Bをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

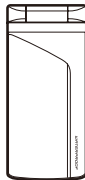
F-01Bの操作説明について

F-01Bの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

「取扱説明書（本書）」	画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明 ※ は「使いかたガイド」の索引用語です。
「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）	よく使われる機能の概要や操作について説明 F-01Bの待受画面から MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 0 使いかたガイド ▶ 検索方法を選択
「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）	すべての機能の詳しい案内や操作について説明 〈パソコンから〉　ドコモのホームページでダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html ※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- この『F-01B取扱説明書』の本文中においては、「F-01B」を「FOMA端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作（⇒P39）または指紋認証（⇒P40）を行う操作を表しています。

本体付属品について

F-01B
（リアカバー F42、保証書含む）

電池パック F10

卓上ホルダ F30

卓上ホルダ F30はお客様から回収させていただいた製品のABS樹脂をリサイクルして製造しております。

取扱説明書（本書）

※「取扱説明書（詳細版）」はドコモのホームページよりご覧ください。

F-01B用 CD-ROM

対応しているオプション品について⇒P85

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

はじめに

基本の操作

つながる

しらべる

たのしむ

より便利に

その他

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

F-01Bでできること

オートGPS

62

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。

使いかたガイド

30

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、いつでもどこでも簡単に調べることができます。

iコンシェル

72

待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）がお客様に役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（iスケジュール）が自動的にダウンロードされたりすることにより、便利にご利用いただけるサービスです。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

国際ローミング（WORLD WING）

51

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。

防水／防塵性能

17

外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX8（IPX7を上回る規格）の防水性能およびIP5Xの防塵性能を有しています。

親子モード

44

使える機能を制限することで、安心して本FOMA端末をお子さまにご利用いただくことができます。

各部の名称と機能

F-01Bの各部の名称とそれぞれに割り当てられている代表的な機能を紹介します。

❶ **受話口**
相手の声はここから聞こえます。

❷ **ディスプレイ（タッチパネル）**⇒P26、29

❸ **送話口／マイク**
自分の声をここから送ります。通話中や録音中はふさがないでください。

❹ **MENU MENUキー**
メニューを表示します。

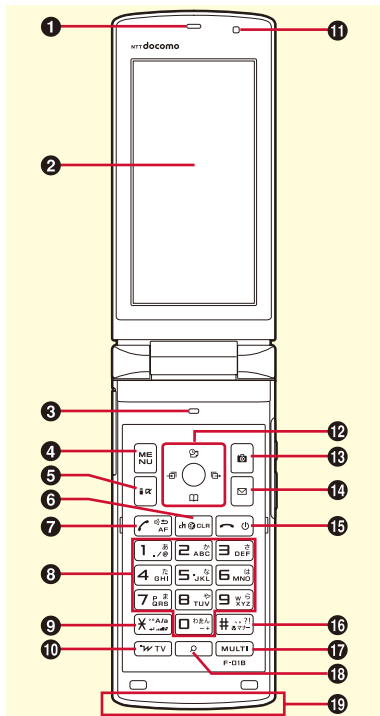
❺ **iα ｉモード／ｉアプリ／文字キー**
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダの表示、文字入力モードの切り替えを行います。

❻ **CLR ch／クリアキー**
ｉチャネルの表示や前画面に戻る操作を行います。

❼ **音声電話開始キー**
音声電話を開始します。

❽ **0～9 ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択を行います。

❾ **＊／公共モード（ドライブモード）キー**
「＊」や濁点・半濁点の入力、公共モード（ドライブモード）の起動／解除を行います。

❿ **ｉウィジェット／TVキー**
ｉウィジェットの起動／終了やワンセグを起動します。

⓫ **光センサー**
周囲の明るさを感知し、画面の明るさを自動調整します。手で覆ったりシールを貼ったりしないでください。

⓬ **マルチカーソルキー**
カーソルの移動やメニューの操作を行います。
- ：操作の実行
- ：スケジュール帳の表示や音量調整
- ：電話帳の表示や音量調整
- ：着信履歴の表示
- ：リダイヤルの表示

⓭ **カメラキー**
静止画撮影／動画撮影を起動します。

⓮ **メールキー**
メールメニューを表示します。

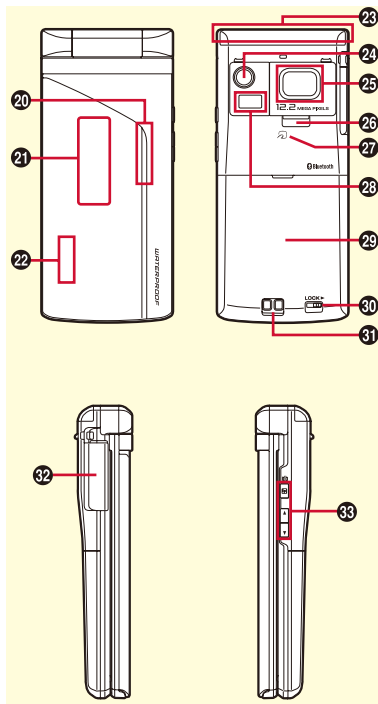
⓯ **電源／終了キー**
電源のオン／オフや操作中の機能を終了します。

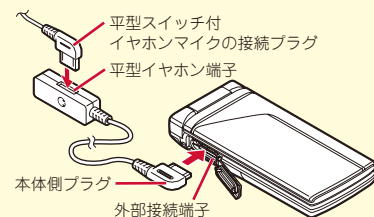
⓰ **#／マナーモードキー**
「#」や句読点の入力、マナーモードの起動／解除を行います。

⓱ **MULTI マルチタスクキー**
別の機能を起動／実行します。

⓲ **サーチキー**
クイック検索を起動します。

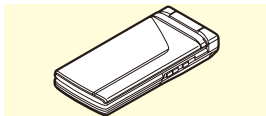
⓳ **ワンセグアンテナ部（本体内蔵）**
よりよい条件で受信するために、手で覆わないでください。

⑳ **ランプ⇒P27**
充電時などに点灯します。
㉑ **背面ディスプレイ⇒P27**
㉒ **電話ランプ／メールランプ⇒P27**
電話の着信やメールの受信、通話中などに点灯、点滅します。
㉓ **FOMAアンテナ部（本体内蔵）**
よりよい条件で通話するために、手で覆わないでください。
㉔ **カメラ**
静止画／動画を撮影します。
㉕ **指紋センサー**
指紋による認証操作を行います。
㉖ **スピーカー**
着信音やハンズフリー機能利用中の相手の声が聞こえます。
㉗ **マーク**
おサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりします。
㉘ **ライト／赤外線ポート**
カメラのライトとして使用したり、赤外線通信や赤外線リモコン機能で使用します。
㉙ **リアカバー**
※リアカバーを外して内蓋を開き、電池パックを取り外すと、microSDカードスロットがあります。

㉚ **リアカバーのレバー**
※水濡れや粉塵の侵入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けて、レバーでロックした状態でお使いください。
㉛ **充電端子**
㉜ **外部接続端子**
別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続します。
㉝ **サイドキー**
♫：ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルプレーヤーの操作、カメラの撮影に使います。
▲：着信音、アラーム音、バイブレータの停止や音量調整をします。
▼：音量調整や背面ディスプレイの照明点灯、表示切り替えを行います。

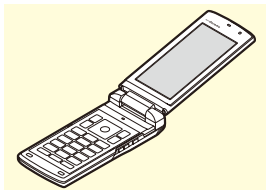
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

利用スタイル

本FOMA端末は、3つの状態で利用できます。

✤ 閉じた状態

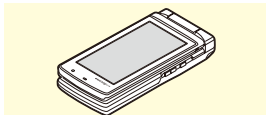
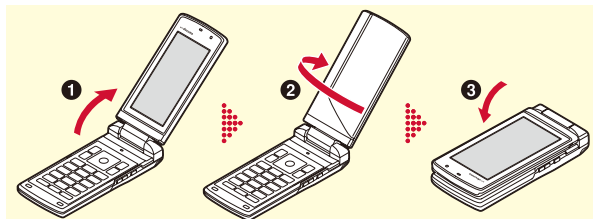
背面ディスプレイやランプから情報を得ます。

✤ 通常スタイル（縦／横）

FOMA端末を開いた状態で、キー操作とタッチ操作に対応しています。

※お互いの映像を見ながらテレビ電話をするには、ディスプレイを右回りに180度回転させ、カメラを自分側に向けます。

✤ ビューアスタイル（縦／横）

ディスプレイを外側に向けた状態で、タッチ操作に対応しています。

Information

- モーションセンサーが作動しているときには、FOMA端末の傾きに合わせて縦画面と横画面が切り替わります。⇒P38

ビューアスタイルにするには、FOMA端末を開き（❶）、途中で止まるところでディスプレイを右回りに180度回転させ（❷）、ディスプレイを手前に倒します（❸）。

※ビューアスタイルから通常スタイルに戻すには、ディスプレイを起こし、途中で止まるところでディスプレイを左回りに180度回転させます。

Point

- ビューアスタイルにするときに、ディスプレイの左回転や180度以上の回転はしないでください。また、回転時にディスプレイの角が本体などに当たらないようにしてください。傷ついたり、破損したりするおそれがあります。

- 閉じた状態でFOMA端末を持ち運ぶときには、サイドキーの誤操作防止のためHOLDを起動してください。ビューアスタイルで持ち運ぶときには、タッチパネルの誤操作防止や電池の消費節約のため、画面オフロックをかけてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、FOMAカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱い

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

モーショントラッキングやモーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーショントラッキングとモーションセンサーは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングやモーションセンサーのご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質	表面処理
充電端子	ABS	金メッキ
電池パックコネクタ端子	ベリリウム銅	金メッキ
リアカバープレート	SUS	なし
リアカバー裏面	SUS	なし
ネジ	SUS	なし
外部接続端子	SUS	金メッキ
銘板貼付け部	プリント基板	金メッキ

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

警告

禁止

アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタおよび卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタおよび卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱い

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

共通のお願い

- **F-01Bは防水／防塵性能を有していますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - FOMA端末は、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX8（IPX7を上回る規格）の防水性能およびIP5Xの防塵性能を有していますが、完全な防水／防塵というわけではありません。雨の中や、水滴や汚れなどがついたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食したり、故障の原因となったりします。また、付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。調査の結果、これらの水濡れや粉塵の侵入による故障と判明した場合、保証対象外となります。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤動作したりすることがあります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本または3本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

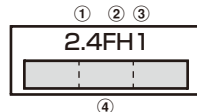
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について

  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水／防塵性能

F-01Bは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態で、次の防水性能を有しています。

- **IPX5（旧JIS保護等級5）※1**
- **IPX7（旧JIS保護等級7）※2の規格を上回るIPX8※3**

また、F-01Bは外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIP5X（JIS保護等級5）※4の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、携帯電話を設置したターンテーブルを回転させた状態で2.5m～3mの距離から最低3分間12.5L/分の直接噴流をあてた後に、電話機としての機能を有することです。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所に携帯電話を静かに沈め、30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することです。
※3 IPX8とは、IPX7の規格を上回る防水性能を有することです。
※4 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

F-01Bは次のIPX8の防水性能を有しています。
- 常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-01Bを静かに沈め、30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有する。
- 常温で水道水、かつ静水の中に沈めている30分間は静止画／動画撮影をできる。

✜ F-01Bが有する防水／防塵性能でできること

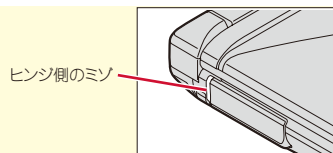
- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます。**
  - 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中で静止画／動画撮影ができます。**
  - 水中で静止画／動画撮影以外の操作を行わないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法（⇒P20）で洗い流してください。
- **お風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
  - 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

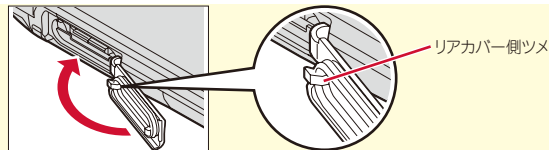
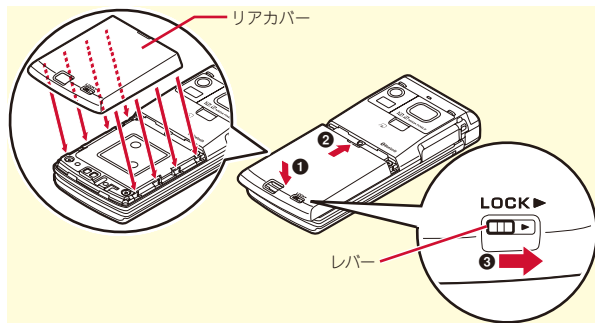
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子キャップは、次の方法で開け閉めしてください。

  <外部接続端子キャップの開けかた>

  ヒンジ側のミゾに指を掛けて開けてください。

<外部接続端子キャップの閉じかた>

キャップ裏面リアカバー側のツメを、本体のミゾへ掛けた状態で閉じてください。さらに、キャップが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。

- リアカバーの取り付けは、次の方法で行ってください。
  <リアカバーの取り付けかた>
  リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックします。

※リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。また、リアカバーのレバーを刻印されている矢印の方向にスライドさせ、しっかりとロックされた状態であることを確認してから使用してください。

- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

せっけん／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

温泉で使う

海水をつける

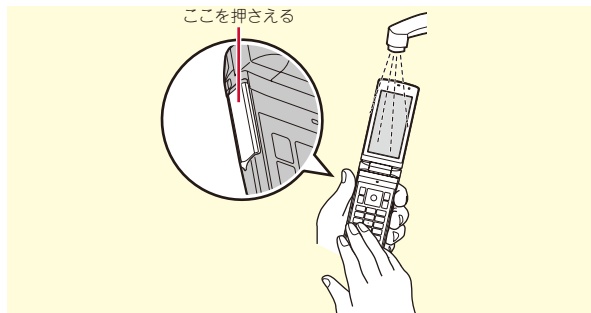
また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 規定（⇒P17）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-01BはIPX5の防水性能を有していますが、不具合の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- FOMA端末を開いた状態で水中を移動したり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

FOMA端末の洗いかた

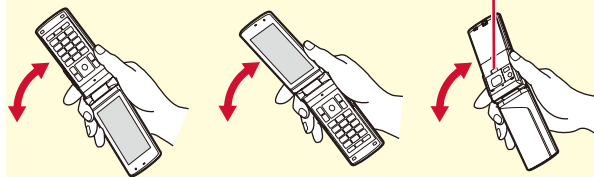
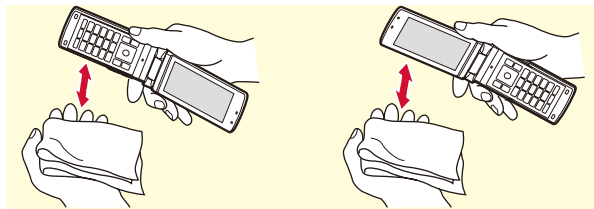
外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。

- 規定（⇒P17）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- リアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。

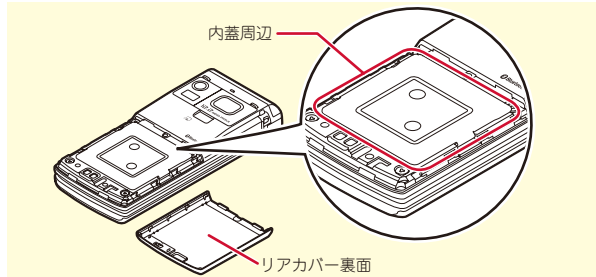
- 泥や土が付着している場合は、開閉回転操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ 送話口、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取ってください。

④ リアカバーを取り外して、内蓋周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取ってください。このとき、内蓋は絶対に開かないでください。拭き取った後にリアカバーを取り付けてロックしてください。

リアカバーの取り外しかた⇒P23

⑤ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときには

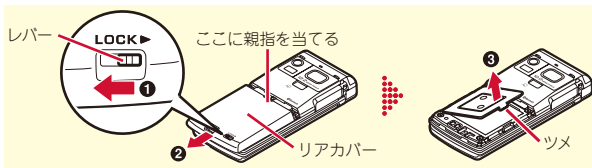
充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

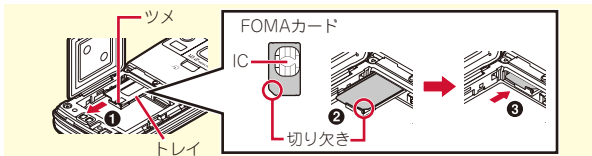
- 充電時は、FOMA端末が濡れていないか確認してください。FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- FOMA端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

FOMAカード／電池パックの取り付け

取り付けは電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って正しく行ってください。

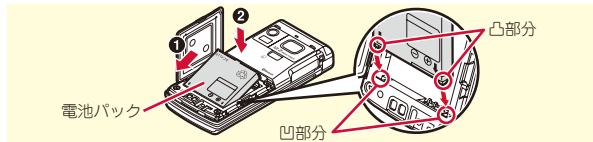
✤ リアカバーの取り外し

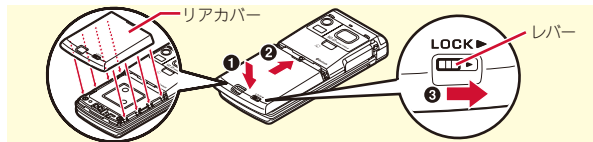
レバーを❶の方向にスライドさせてロックを外し、親指でリアカバーを押しながら❷の方向に約2mmスライドさせて外す。内蓋のツメをつまんで、❸の方向に持ち上げて止まる位置まで開く。

✤ FOMAカードの取り付け

ツメに指をかけ「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す（❶）。IC面を下にし、切り欠きの向きを合わせてFOMAカードをトレイにセットし（❷）、トレイを奥まで押し込む（❸）。

Point

- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

✤ 電池パックの取り付け

電池パックのラベル面を上にし、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込んでから内蓋を閉じる。

✤ リアカバーの取り付け

リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末との間にすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける。最後にレバーを❸の方向にスライドさせてロックする。

Point

- 内蓋は、防水／防塵性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっています。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。
- 無理な力による破損防止のため、内蓋のヒンジ部分（本体との接合部分）は外れる構造になっています。外れた場合は、内蓋側のピン状の金具部分をFOMA端末側のミゾに合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

充電

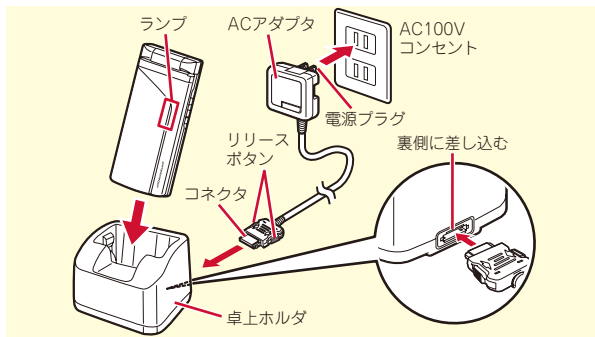
お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。
必ず専用のACアダプタで充電してからお使いください。

卓上ホルダと組み合わせた充電

1 ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ水平に差し込む

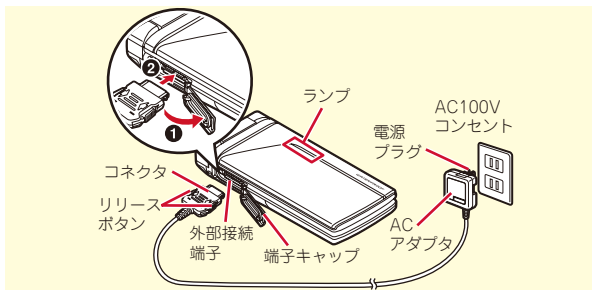
2 ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を閉じた状態で、卓上ホルダに差し込む
※ ランプが点灯したことを確認してください。

4 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す

ACアダプタによる充電

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）

2 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

3 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

✤ 充電中の動作

充電が始まると開始音が鳴ります。充電中はランプが点灯し、ディスプレイや背面ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると完了音が鳴ります。

電源を入れる～初期設定

初めてFOMA端末の電源を入れたときに行う操作です。

1 **[⌒]（2秒以上）**

2 **拡大メニューの設定の確認画面で「はい」or「いいえ」**

右の画面が表示されます。

3 **各項目を設定▶[📷]［終了］**

暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに再び初期設定画面が表示されます。

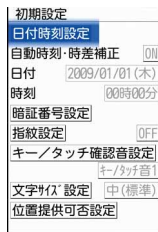
〈初期設定画面〉

4 **ソフトウェア更新機能の確認画面で[●]**

待受画面が表示されます。

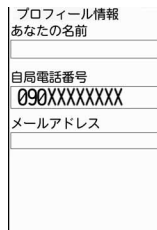
Point

- 何も操作しないでいると、画面オフ時間設定や省電力設定に従って自動的にディスプレイが消灯します。何らかの操作や電話の着信などによって、ディスプレイは再び点灯します。

電源を切る：[⌒]（2秒以上）
初期設定の変更：[MENU]▶[8][7][4][7]

プロフィール情報

自分の電話番号を確認します。
メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 **[MENU]▶[0]プロフィール**

右の画面が表示されます。

〈プロフィール情報画面〉

Point

プロフィール情報を編集：プロフィール情報画面で[📷]▶認証操作▶編集▶[📷]
通話中などに電話番号を確認：[MULTI]▶[0]

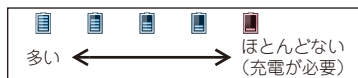
ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。ここでは主なマークを紹介します。

ディスプレイ上部

電池残量（電池アイコン）

電波受信レベル（アンテナアイコン）

	圏外
強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- ：セルフモード中
- ：データ転送モード中
- ：ｉモード接続中
- ：赤外線通信中
- ：Bluetoothオン
- ：積算通話料金が上限を超過
- ：Bluetooth接続処理中
- ：ハンズフリー対応機器で通信中
- ：ハンズフリー ON
- ：省電力モード設定中
- ：GPS測位中
- ：位置提供設定中
- ：開閉ロックまたは画面オフロック中
- ：親子モード設定中
- ：電話帳、スケジュールがシークレット属性
- ：ワンタッチアラーム設定が「ON」
- ：未読エリアメールあり
- ：未読ｉモードメールあり
- ：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
- ：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールあり
- ：SSL／TLSページ表示中など
- ：圏内自動送信メールあり
- ：Music&Videoチャネル番組取得予約あり
- ：ｉアプリ動作中
- ：ｉアプリコール受信あり
- ：目覚まし設定中
- ：スケジュールアラーム設定中
- ：OFFICEEDエリア内

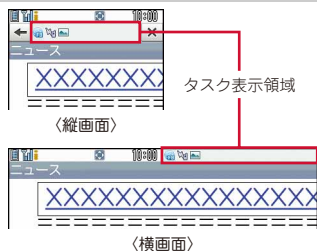
ディスプレイ下部

新着情報（左から、不在着信、伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読メール、未読トルカ、ｉアプリコール）

- ：マナーモード中
- ：電話着信音量消音設定中
- ：音声電話着信バイブレータ設定中
- ：公共モード（ドライブモード）中
- ：伝言メモ設定中
- ：ダイヤル発信制限中
- ：GPS位置提供失敗
- ：パーソナルデータロック中
- ：Music&Videoチャネル取得失敗
- ：FOMAカード読み込み中
- ：ICカードロック中
- ：有効マルチカーソルキー
- ：ワンセグ予約録画中
- ：ｉアプリ自動起動失敗
- ：通信モード中にmicroSDカードあり
- ：USBケーブルで外部機器と接続中
- ：ウォーキング／Exカウンター設定中
- ：ソフトウェア更新書き換え予告
- ：最新パターンデータ自動更新失敗

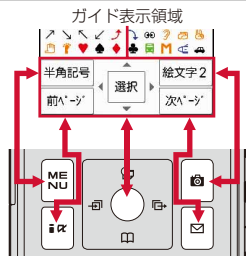
背面ディスプレイやランプの見かた

タスク表示領域

タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。

ガイド表示領域とキー操作

ガイド表示領域には、MENU、iα、●、📷、✉を押して実行できる操作が表示されます。

ガイド表示領域に表示されている操作を行うには、表示位置に対応するキーを押します。

ガイド表示領域の表示は、FOMA端末の傾きに合わせて自動的に切り替わります。

FOMA端末を閉じていても、背面ディスプレイやランプの表示から情報を得ることができます。背面ディスプレイは約8秒間何も操作しないでいると消灯しますが、いずれかのサイドキーを押すと再び点灯します。

✤ 表示の切り替え

時計が表示されているときは、♫を押すたびに時計（デジタル1）⇒時計（デジタル2）⇒アナログ時計の順に切り替わります。また、ウォーキング／Exカウンター設定が「利用する」、ｉチャネル設定のテロップ表示が「表示する」のときは、▲を押すたびに活動量表示⇒ｉチャネルのテロップ表示⇒時計表示の順に切り替わります。

✤ 新着情報

不在着信、伝言メモ、未読メール、留守番電話サービスの伝言メッセージなどがあるときは、時計表示中に▼を押すと件数が表示され、続けて▲を押すと着信日時と相手の情報がスクロール表示されます。

✤ 電話ランプとメールランプ

電話ランプ（📞）は未確認の不在着信、メールランプ（✉）は未読メールがあるときに点滅します。

✤ ランプ

充電時やカメラ起動時、イルミネーション設定（⇒P37）などにより点灯します。

Information

- FOMA端末を持ち上げて傾けるだけでも、背面ディスプレイは点灯します。【背面自動点灯設定】

メニュー操作

待受画面でMENUを押し、メニューから機能を実行します。ダイヤルキーや✱、#でメニューを選択するショートカット操作と、カーソル移動で行うマルチカーソル操作があります。

〈例〉「電卓」を選択する

ショートカット操作

マルチカーソルキー操作

1 MENU▶「7アクセサリー」にカーソル▶●［選択］▶「4電卓」にカーソル▶●［選択］

Point

- 機能起動中も、ガイド表示領域に「MENU」と表示されている場合は同様に操作します。
- 1つ前の画面に戻すにはCLRを押します。待受画面に戻すには⌐を押します。
- 待受画面にカレンダー／待受カスタマイズや待受ショートカットを設定しているとき、新着情報アイコンが表示されているときには、●を押して情報をすばやく表示するフォーカスモードになります。

メニュー画面の切り替え

きせかえツール（⇒P37）でデザインを変更できる「きせかえメニュー」、メニュー番号が固定の「ベーシックメニュー」、メニュー項目を自由に登録できる「セレクトメニュー」を切り替えて使用できます。

お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたきせかえメニューが設定されています。

〈ベーシックメニュー〉　〈きせかえメニュー〉　〈セレクトメニュー〉

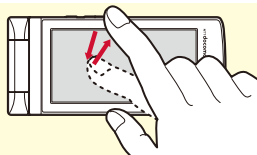
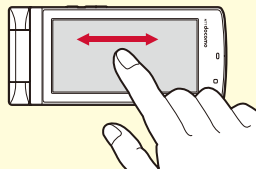
Point

- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものや、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- 待受画面でMENUを押したときに表示されるメニューは、表示メニュー設定で変更できます。⇒P35

タッチパネルの使いかた

ディスプレイをタッチパネルとして利用できます。キー操作で項目を選択できる画面では、タッチ操作でも同様の操作ができます。

タッチ操作の種類

タッチ	画面を軽く1回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主にメニューや項目の選択などで使用します。
ダブルタッチ	画面を軽く2回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主に画面表示の拡大／縮小や切り替えなどで使用します。
スライド	画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に動かします。画面のスクロール、曲や動画、ビデオの巻き戻し／早送りなどに使用します。
すばやくスライド	画面に軽く触れた後、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。ページや表示画像の切り替え、チャプターや曲の移動などで使用します。

例：タッチ　　例：スライド

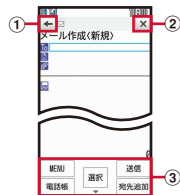
タッチ専用操作

代表的なタッチ操作を紹介します。

待受画面からの機能選択

待受タッチボタン（画面下部の4つのボタン）と待受ランチャー（右下の画面）を使用します。

ガイダンスボタン

1つ前の画面に戻る（①）、機能の終了（②）、ガイド表示領域に表示されている機能の実行（③）を行います。

タッチ用メニューボタン

機能ごとに異なるボタンが表示されます。

タッチ用メニューボタン

例：電話をかける画面　例：マイドキュメント

フォーカス移動とメニュー／項目選択

メニューや項目をタッチし、タッチ用フォーカスを移動してからもう一度タッチして選択します。

一覧でスライド

項目を直接タッチ

リンク項目や確認画面	数値設定ローラー
項目を直接タッチします。 	日付や時刻など、数値を設定する項目を選択すると、スライド操作で数値を回転しながら設定できます。
方向・決定ボタン ビューアスタイルでｉモードブラウザを利用する場合は、方向・決定ボタンで表示画面内のメニューや項目を操作します。 	**チャンネル切り替えパネル／音量調整パネル／スライダ** ワンセグや動画再生中に、上下または左右にスライドでパネルを表示し、タッチまたはスライドで操作します。 スライダは、タッチまたはスライドで値を調節します。
電話をかける 待受タッチボタンのをタッチし、123▶番号▶とタッチします。 	**電話に出る** 着信中に画面をタッチしてボタンを表示させ、をタッチします。

使いかたガイド

機能の概要や操作方法、困ったときの対処方法を調べることができます。

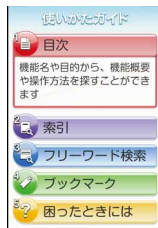
1 MENU▶6LifeKit▶0使いかたガイド▶検索方法を選択

目次：機能の一覧から選択して調べます。

索引：50音順の用語一覧から選択して調べます。

フリーワード検索：探したいキーワードを入力して調べます。

ブックマーク：ブックマークに登録した一覧から調べます。

困ったときには：トラブルの現象やエラーメッセージから調べます。

〈使いかたガイド画面〉

Point

- 説明画面では、「この機能を使う」を選択して機能を実行できます。「関連機能」内のリンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する機能の説明画面が表示されます。
- 本書内の【🔍】で示した用語は、「使いかたガイド」の索引用語です。

Information

- フリーワード検索は、クイック検索からも利用することができます。⇒P75

文字入力

文字を入力するには、キー操作とタッチ操作による2種類の方法があります。さらにそれぞれの方法には2つの入力方式があります。
文字入力画面で入力方法切り替えボタン（[▦▸あ]など）をタッチするたびに、入力方法とアイコンの表示が切り替わります。

入力方法の違い

キー操作による文字入力

	かな入力方式	2タッチ入力方式
概要	1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押して文字を切り替えて入力	2つのキーを組み合わせて押すことで1つの文字を入力
入力例	「ろ」：[9]を5回 「っ」：[4]を3回▶[*] 「ぽ」：[6]を5回▶[*]を2回 「ん」：[0]を3回 「ぎ」：[2]を2回▶[*]	「ろ」：[9][5] 「っ」：[8][0][4][3] 「ぽ」：[8][0][6][5][0][5] 「ん」：[0][3] 「ぎ」：[2][2][0][4]
入力中の操作	[⤶]：1つ前の文字に戻す（例：お⇒え⇒う⇒…）	–
	[CLR]：文字の取り消し、文字の削除（入力確定後） [*]：濁点・半濁点の付加や大文字／小文字の切り替え（例：ほ⇒ぼ⇒ぽ⇒ほ⇒…、つ⇒っ⇒づ⇒つ⇒…）、改行（入力確定後のみ）	

※ 中国語（簡体字）を入力するには、マルチリンガル利用設定を「ON」にし、「T9入力方式」で入力します。

タッチ操作による文字入力

	手書き文字入力	タッチキー入力
概要	手書き入力エリアに、指で文字を書いて入力	タッチ操作で文字を選択して入力
入力例	入力エリアに「六」「本」「木」と順に書く	「ろ」：［ら9］▶［ろ］ 「っ」：［た4］▶［っ］ 「ぽ」：［は6］▶［゛゜］を2回▶［ぽ］ 「ん」：［わ0］▶［ん］ 「ぎ」：［か2］▶［゛゜］▶［ぎ］
入力中の操作	［全角/半角］：全角／半角の切り替え ［クリア］または[←]：カーソル位置の1文字を削除（入力確定後）	
	［クリア］：認識文字を削除 ［閉じる］：別候補文字選択画面の表示終了 ［訂正］：文字の書き直し	［大/小］：大文字／小文字の切り替え ［戻る］：各入力モードの1階層目の文字入力画面に戻す ［前ページ］／［次ページ］：前後の記号一覧を表示

入力モードの切り替え

入力方式により、入力モードの切り替えかたが異なります。

かな入力方式・2タッチ入力方式

文字入力画面で[iα]を押すたびに、「ひらがな／漢字」⇒「半角カタカナ」⇒「半角英字」⇒「半角数字」⇒「ひらがな／漢字」…と入力モードが切り替わります。

- [Q]で全角／半角の切り替えができます。

タッチキー入力

［文字切替］をタッチすると入力モード一覧が表示され、［かな英数］［英数］［数字］［カタカナ］［半角記号］［全角記号］のいずれかをタッチすると入力モードを切り替えられます。

文字入力設定

文字入力の入力方式や、入力時の動作を設定します。

1 [MENU]▶[8]設定／NWサービス▶[7]時計／入力／他▶[2]文字入力設定▶[5]入力設定▶各項目を設定▶[📷]［登録］

絵文字・顔文字の入力

絵文字の入力

1 文字入力画面で［絵・記号］が表示されているときに[📷]［絵・記号］

現在、表示されている絵文字一覧の種類を確認できます。
絵文字一覧は、[📷]を押すたびに切り替わります。

最近使用した絵文字が入力履歴として表示されます。

ページが複数あるときには[iα]または[✉]を押して、切り替えます。絵文字Dの場合は、フォルダが切り替わります。

絵文字1 1/3

2 絵文字を選択

[CLR]を押すと、絵文字一覧は閉じます。

顔文字の入力

1 文字入力画面で[MENU]▶[5]絵文字・記号・顔文字▶[3]顔文字▶[1]入力履歴～[9]すべて▶顔文字を選択

メール本文の編集画面での顔文字入力：[MENU]▶[5][1]▶[1]～[9]▶顔文字を選択

Information

- よく使う文章や単語を登録することができます。【文字入力▷定型文登録／単語登録】
- 入力した文字をコピーしたり、切り取ったり、貼り付けたりすることができます。【文字入力▷コピー／切り取り／貼り付け】
- ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録することができます。【パスワードマネージャー】

音の設定

着信音を変更したり、音量を調整したり、FOMA端末から出る音を消したり、音に関する設定を行います。

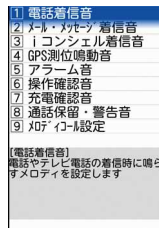
音設定

好きなメロディなどを着信音やアラーム音に設定することができます。

〈例〉電話着信音（電話着信音／テレビ電話着信音）の設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 1 音設定**

電話着信音のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などを設定することができます。

2 **1 電話着信音 ▶ 1 電話着信音 or 2 テレビ電話着信音 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］**

〈音設定画面〉

Point

- 電話着信音を設定すると、電話着信設定およびテレビ電話着信設定にも反映されます。
- ミュージックや動画／ｉモーションによっては、着信音に設定できない場合があります。

音量設定

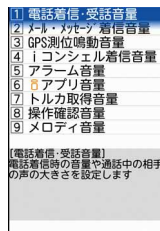
着信音やアラーム音などの音量を設定します。

〈例〉電話着信音量の設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 2 音量設定**

電話着信音量のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などの音量を設定することができます。

2 **1 電話着信・受話音量 ▶ 1 電話着信音量 ▶ ▲▼ or 🔘 ▶ ● ［選択］**

音量は「Silent」「Level 1」～「Level 6」「Steptone」の中から選択します。

〈音量設定画面〉

Point

- 「Silent」に設定したときには、待受画面にが表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときはが表示されます。

Information

- 電話を着信したときの着信音やイメージ表示、バイブレータの動作パターン、イルミネーションを設定できます。【電話着信設定】【テレビ電話着信設定】
- 着信やアラームを音ではなく、振動で知らせることができます【バイブレータ設定】

基本の操作

マナーモード

着信音、キー／タッチ確認音、開閉操作音、アラーム、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。マナーモード中は、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

1 **#（1秒以上）**

マナーモード中は待受画面に が表示されます。

マナーモードの解除：#（1秒以上）

〈マナーモード中の待受画面〉

Point

- マナーモード中でもシャッター音は鳴ります。

キー／タッチ確認音を消す

キーを押したり、タッチ操作をしたりしたときに鳴る音を消します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶1音設定▶6操作確認音**

キー／タッチ確認音のほかにも、開閉操作音を消したり、シャッター音を変更したりすることができます。

2 **1キー／タッチ確認音▶5OFF**

キー／タッチ確認音を解除する旨のメッセージが表示された後、右の画面に戻ります。

音を選ぶときは「1キー／タッチ音1」～「4ドレミ」の中から選択します。

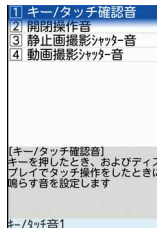
1 キー/タッチ確認音
2 開閉操作音
3 静止画撮影ｼｬｯﾀｰ音
4 動画撮影ｼｬｯﾀｰ音

[キー/タッチ確認音]
キーを押したとき、およびディスプレイでタッチ操作をしたときに鳴らす音を設定します

ｷｰ/ﾀｯﾁ音1

〈操作確認音設定画面〉

Information

- 着信やアラームごとにマナーモード中の動作を設定することができます。【オリジナルマナーモード】

ディスプレイの設定

待受画面や照明、文字サイズなどを変更することができます。

待受画面設定

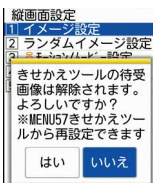
お買い上げ時の待受画面はきせかえツールに従ってコーディネイトされていますが、待受画像や時計表示、電池アイコンなどを個別に設定して、オリジナルの組み合わせを楽しむことができます。

待受画面選択

〈例〉お買い上げ時に登録されている画像を待受画面に設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 1 待受画面設定 ▶ 1 待受画面選択 ▶ 1 縦画面設定 or 2 横画面設定 ▶ 1 イメージ設定**
きせかえツールが設定されているときには、右の画面が表示されます。

〈きせかえツールの解除確認画面〉

2 **「はい」▶ 6 プリインストール ▶ 画像を選択 ▶「はい」**

電池アイコン設定

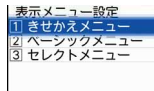
1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 1 待受画面設定 ▶ 3 電池アイコン設定**
右の画面が表示されます。

〈電池アイコン設定画面〉

2 **1〜7**
きせかえツールが設定されているときに7以外を選択すると、きせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を押すと、選択したアイコンが設定されます。

表示メニュー設定

待受画面でMENUを押したときに表示されるメニューのタイプを設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 2 メニュー設定 ▶ 1 表示メニュー設定 ▶ 1 きせかえメニュー〜3 セレクトメニュー**

〈表示メニュー設定画面〉

Information

- 待受画面の時計の表示／非表示や時計のデザイン、表示位置、曜日の表示言語、時刻の表示形式を設定することができます。【時計表示設定】
- 待受画面をいくつかのエリアに分割して、それぞれのエリアに新着情報やスケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容を表示するように設定できます。【待受画面設定 ▷ カレンダー／待受カスタマイズ】

文字サイズ設定

ｉモードサイトやメール作成画面、電話帳などの文字のサイズを変更することができます。

〈例〉一括して文字サイズを変更

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶6文字表示設定▶1文字サイズ設定▶1全体▶1極小〜7極大

選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズも変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を押すと、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。

Point

- 一括して文字サイズを変更するときに、選択した文字サイズに対応していない項目は、もっとも近い文字サイズに設定されます。

プライバシービュー

ディスプレイの表示を周囲の人から見えにくくします。待受画面以外の画面を表示中でも、起動／解除ができます。

1 MULTI（1秒以上）

プライバシービューの解除： MULTI（1秒以上）

マチキャラ設定

待受画面やメニュー画面などに表示されるキャラクタを設定します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶7マチキャラ設定▶各項目を設定▶📷［登録］

Point

- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリが設定されているときには、マチキャラは表示されません。
- 時刻や新着情報、通話時間などによって動作が変化するマチキャラがあります。

照明点灯時間設定

ディスプレイを明るく点灯させる時間を設定します。

〈例〉「通常時」を設定

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶4照明／キーバックライト設定▶1照明点灯時間設定

2 1通常時▶10秒〜7常時点灯

Point

- 操作2で「通常時」以外を選択して「端末設定に従う」にすると、「通常時」で設定した点灯時間に従います。

Information

- プライバシービューでは見えにくさのレベルを設定することができます。【🔍プライバシービュー▷レベル設定】
- ディスプレイの表示を消すまでの時間設定や、ディスプレイの照明の明るさ調整ができます。キーバックライトをON／OFFしたり、点灯色を選んだりすることができます。【🔍照明／キーバックライト設定▷画面オフ時間設定／明るさ調整／キーバックライト設定】

ランプの設定

電話やメールの着信時、新着通知、不在着信をランプで知らせるよう設定します。

イルミネーション設定

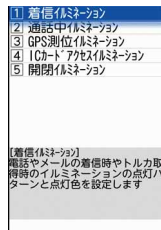
電話やメールの着信時や通話中などのランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

〈例〉着信時のイルミネーションを設定

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶5イルミネーション設定**

着信時のほかにも、通話中やFOMA端末を閉じたときなどのイルミネーションの設定ができます。

〈イルミネーション設定画面〉

2 **1着信イルミネーション▶各項目を設定▶📷［登録］**

不在着信お知らせ

不在着信や未読メール（SMS含む）、新着インフォメーションがあることをランプで知らせます。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶3各種画面設定▶5着信表示設定▶2不在着信お知らせ▶1ON or 2OFF**

きせかえツール

待受画像、メニュー、発着信画像などをコーディネイトされた組み合わせで一括して設定します。

〈例〉お買い上げ時に登録されているきせかえツールを設定

1 **MENU▶5データBOX▶7きせかえツール▶2プリインストール▶きせかえツールにカーソル▶📷［設定］**

きせかえツールにカーソルを合わせて✉を押すと、きせかえツールの詳細内容が表示できます。

また、きせかえツールに合わせて●を押すと、待受画面とメニュー画面のイメージを拡大表示できます。

〈詳細内容表示画面〉

〈コーディネイトのイメージ拡大画面〉

2 **「はい」**

Information

- 指定した時刻に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを切り替えたりするように設定できます。【ライフスタイル設定】

省電力モード

各種照明の設定を「OFF」にしたり、点灯時間を短くしたりして、電池の消費を抑えます。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶8省電力設定▶1省電力モードON／OFF**
選択するたびにON／OFFが切り替わります。

省電力動作設定

省電力モードにしたときの動作を設定します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶8省電力設定▶2省電力動作設定▶1標準省電力 or 2フル省電力**

標準省電力：画面の明るさやキーバックライトなど、ディスプレイの表示やイルミネーションの点灯などを調整して、電池の消費を抑える

フル省電力：標準省電力に加え、モーションセンサー設定や画面オフロックの置き忘れセンサー、オートGPS、ウォーキング／Exカウンターなどの機能の使用を制限して、電池の消費を抑える

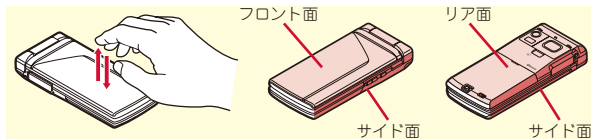
モーションセンサー

FOMA端末をダブルタップ（2回叩く）したり傾けたりして、さまざまな操作ができます。

モーションセンサー設定

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶7時計／入力／他▶6モーションセンサー設定▶各項目を設定▶[📷]［登録］**
オートローテーションを「設定項目のみ有効」にすると、機能ごとに有効／無効を選択することができます。

✤ アラームの停止／新着情報の詳細表示

FOMA端末を閉じた状態でアラーム鳴動中にフロントまたはリア面をダブルタップすると、鳴動が停止します。背面ディスプレイの時計表示中にサイド面をダブルタップすると、新着情報の詳細が表示されます。

✤ オートローテーション／その他

通常スタイルでは、FOMA端末を傾けるとブラウザ、マイピクチャ、ワンセグ、動画／ｉモーションなどの縦横表示が切り替わります（オートローテーション）。ビューアスタイルでは、待受画面やメニュー画面、各種設定画面でも縦横表示が切り替わります。この他にも、ブラウザ画面で▲または▼を押しながらFOMA端末を傾けると画面がスクロールしたり、背面ディスプレイの時計の縦横表示が切り替わったりします。

FOMA端末の暗証番号

機能によって異なる暗証番号を使います。暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。万が一他人に知られ悪用された場合でも、その損害について当社は一切の責任を負いかねます。暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

端末暗証番号 （お買い上げ時：0000）

設定変更時やデータの全件削除時に、端末の使用者がその機能を使うことを了解するために使う番号です。次の操作で変更できます。

1 MENU ▶ 8設定／NWサービス ▶ 4セキュリティ／ロック ▶ 7暗証番号／指紋設定 ▶ 1暗証番号変更 ▶ 認証操作 ▶ 新しい端末暗証番号を入力 ▶ 新しい暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力 ▶ 📷［登録］

Point

- 端末暗証番号入力画面で誤った番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

PIN1コード／PIN2コード （ご契約時：0000）

PIN1コードは、FOMAカードを取り付けたり、FOMA端末の電源を入れたりする際、使用者確認のために使います。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使います。
いずれも次の操作で変更できます。PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 MENU ▶ 8設定／NWサービス ▶ 4セキュリティ／ロック ▶ 6FOMAカード（UIM） ▶ 1PIN1コード変更 or 2PIN2コード変更 ▶ 認証操作 ▶ 現在のPINコードを入力 ▶ 新しいPINコード欄と新しいPINコード（確認）欄に新しいPINコードを入力 ▶ 📷［登録］

Point

- 電源を入れたときにPIN1コード入力画面を表示させるようにするには、MENU ▶ 84631でPIN1コードON/OFFを「ON」にします。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの場合には、それらの操作はできなくなります。
- PIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えてロックされたときには、契約時に通知されたPIN ロック解除コードを入力します。PIN ロック解除コードの入力を連続10回間違えてFOMAカードがロックされた場合には、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

✤ ネットワーク暗証番号 （ご契約時：任意の番号を設定）
ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要となる番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」から変更できます。

✤ ｉモードパスワード （ご契約時：0000）
マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスの申し込み／解約などの際に必要な番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」⇒「ｉモードパスワード変更」で変更できます。

✤ microSDパスワード
microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話側にもパスワードの設定が必要になります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話では、microSDカード内のデータを利用したり、初期化したりすることができません。ただし、microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

✤ パスワード（子供用） （お買い上げ時：1111）
親子モード中に、子供用のパスワードとして使用する暗証番号です。パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号入力または指紋認証操作をしても認証されます。
親子モード⇒P44

指紋認証機能

端末暗証番号を入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせて認証を行います。指紋登録後は、認証操作が必要なときに指紋認証画面が表示されるようになります。
認証に利用する指紋は最大10件登録できます。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 7 暗証番号／指紋設定 ▶ 2 指紋登録 ▶ 認証操作 ▶「OK」▶ メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド ▶ 登録名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ [カメラ]［登録］**

〈指紋登録画面〉

Point
- 指紋認証画面でMENUまたはダイヤルキーを押すと（タッチ操作の場合は［暗証番号］をタッチ）、端末暗証番号入力画面に切り替わります。

Information
- 認証操作を指紋のみで行うように設定することができます。【指紋のみ認証設定】
お客様の指の状態や指紋センサーの故障などにより、認証操作ができなくなった場合には、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口まで持参いただく必要があります。

各種ロック機能

FOMA端末にはさまざまなロック機能が備えられています。目的に応じて使い分けてください。

機能名称	ロックの動作
オールロック	電話の応答、メールの受信、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。 **起動：** MENU ▶ 8 4 1 3 ▶ 認証操作 **解除：** 端末暗証番号を入力（指紋認証設定中は MENU ▶ 認証操作）
セルフモード設定	通信を伴うすべての機能が使えなくなります。 **起動／解除：** CLR （1秒以上）▶「はい」
パーソナルデータロック	電話帳やメール、スケジュールなどの個人情報が表示されないようにします。 **起動／解除：** MENU ▶ 8 4 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2
ダイヤル発信制限	電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できなくなります。 **起動／解除：** MENU ▶ 8 4 1 6 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2
HOLD	持ち歩く際の誤動作を防ぐため、FOMA端末を閉じているときのサイドキー操作を無効にします。 **起動／解除：** MENU （1秒以上）
開閉ロック	FOMA端末を閉じたときにサイドキー以外のキー操作をロックします。 **設定：** MENU ▶ 8 4 1 1 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 **一時解除：** FOMA端末を開いて認証操作
画面オフロック	画面オフの状態から設定時間内に無操作だった場合に、タッチ操作やキー操作をロックします。 **設定：** MENU ▶ 8 4 1 2 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 **一時解除：** いずれかのキーを押してディスプレイを点灯 ▶ MENU ▶ 認証操作
タッチロック	発信中や通話中は、誤操作を防止するために自動的にタッチロックが起動します。 **起動／解除：** 発信中や通話中画面で♫(1秒以上)
ICカードロック	おサイフケータイや読み取り機からのトルカ取得、iC通信などが使えなくなります。 **起動：** 🔑 （1秒以上）▶「はい」 **解除：** 🔑 （1秒以上）▶ 認証操作
プライバシーモード	個人情報利用時の動作を設定します。 • 操作方法は本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」でご確認ください。
おまかせロック	FOMA端末紛失時などにドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけます。 **■おまかせロックの設定／解除** 0120-524-360　受付時間　24時間 ※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。 • 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

電話の着信制限

電話の着信を制限するさまざまな方法があります。

電話番号ごとの着信許可／拒否

電話帳ごとの設定をした後、着信許可／拒否設定（メモリ別着信拒否／許可）を有効にする必要があります。
本機能を利用するときには、番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

1 Q ▶電話帳検索▶設定する電話帳にカーソル▶MENU▶3編集／設定▶4詳細設定▶3着信許可／拒否設定▶認証操作▶電話番号を選択▶1着信許可～3設定なし

2 続けて待受画面でMENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶5メモリ着信拒否／許可▶1メモリ別着信拒否／許可▶認証操作▶1設定解除～3許可設定

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない理由ごとに着信動作を設定します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶2発番号なし動作設定▶認証操作▶1非通知設定～3通知不可能▶各項目を設定▶📷［登録］

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないようにすることで、「ワン切り」などの迷惑電話対策になります。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶5呼出動作開始時間設定▶各項目を設定▶📷［登録］

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶5メモリ着信拒否／許可▶2メモリ登録外着信拒否▶認証操作▶1ON or 2OFF

お買い上げ時の状態に戻す

各種設定リセット

メニュー一覧に赤色の文字で書かれている機能をお買い上げ時の状態に戻します。⇒P86

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 時計／入力／他 ▶ 4 情報表示／リセット ▶ 5 各種設定リセット ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ 📷［リセット］▶「はい」

データ一括削除

FOMA端末の保存データを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 時計／入力／他 ▶ 4 情報表示／リセット ▶ 6 データ一括削除 ▶ 認証操作 ▶「はい」

再起動中にデータが削除されます。待受画面が再表示されるまで電源を切らないでください。

Point

- データ一括削除をしても、お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ICカード内にデータが保存されていないおサイフケータイ対応ｉアプリのうち「iD 設定アプリ」はデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、それ以外は削除されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリ以外のｉアプリはデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、以前にバージョンアップしているとｉアプリ自体が削除されます。

遠隔操作で利用を制限する

FOMA端末の機能を遠隔から制限する2つのサービスがあります。

お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online

- パソコンから
  http://www.docomo.biz

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

✤ 遠隔初期化

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード（UIM）内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

✤ 遠隔カスタマイズ

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各機能（カメラ機能やロック設定など）の利用の制限や、ON／OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。

Point

リモート機能設定確認： MENU ▶ 8 7 4 2

親子モード

使える機能を制限することで、安心して本FOMA端末をお子さまにご利用いただくことができます。

親子モード設定

親子モードを利用するかどうかを設定します。
PIN1コードON／OFFを「OFF」に設定してから操作してください。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 4 親子モード ▶ 認証操作 ▶ 1 親子モード設定 ▶ 1 ON or 2 OFF

「ON」にするとディスプレイ上部にが表示されます。

パスワード（子供用）変更

親子モード設定を「ON」に設定してから操作してください。
端末暗証番号と同じ番号はパスワードに設定できません。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 7 暗証番号／指紋設定 ▶ 1 暗証番号変更 ▶ 認証操作 ▶ 新しいパスワードを入力 ▶ 新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力 ▶ 📷［登録］

各種利用制限

電話発信、メール、ワンセグ、カメラ、ｉモード／フルブラウザ、ｉアプリの利用などを制限することができます。
親子モード設定を「ON」に設定してから操作してください。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 4 親子モード ▶ 認証操作 ▶ 2 各種利用制限

右の画面が表示されます。

〈各種利用制限画面〉

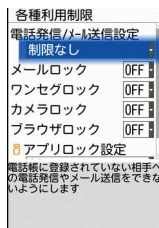
2 各項目を設定

電話発信／メール送信設定：「電話帳登録相手のみ」にすると、電話帳に登録した相手にのみ電話発信やメール送信ができます。

ｉアプリロック設定：「登録アプリのみ許可」にすると、ｉアプリのダウンロードができず、FOMA端末内のｉアプリ以外は利用できなくなります。

3 📷［登録］

Point

- メールロックを「ON」に設定しても、送られてきたメールは自動受信します。このとき、音や画面による着信動作や新着情報表示は行われません。

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したり、電話帳を利用して発信します。

電話番号を入力

同じ市内にかけるときでも必ず市外局番からダイヤルしてください。

1 **電話番号を入力（80桁以内）▶ [発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）▶ 通話が終わったら [終話]**

リダイヤル／着信履歴を利用

リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 **[リダイヤル]（リダイヤル）or [着信履歴]（着信履歴）**

一覧に表示されるマークは発着信の種別を表しています。代表的なマークの意味は次のとおりです。

〈リダイヤル画面〉

〈着信履歴画面〉

[音声電話マーク]：音声電話　[不在着信マーク]／[未確認不在着信マーク]：不在着信／未確認不在着信

[テレビ電話マーク]：テレビ電話　[伝言メモマーク]／[未確認伝言メモマーク]：伝言メモ／未確認伝言メモ※

※ 伝言メモを削除すると、不在着信のマークに変わります。

2 **相手にカーソル ▶ [発信]（音声電話）or [iα]（テレビ電話）**

一覧で相手にカーソルを合わせて[●]を押すと、詳細画面が表示されます。

Point

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

電話帳を利用

1 **[電話帳]**

お買い上げ時には、全件表示（50音）が表示されるように設定されています。[左右キー]で行を切り替えられます。

〈電話帳検索結果画面〉

2 **相手にカーソル ▶ [発信]（音声電話）or [iα]（テレビ電話）**

相手にカーソルを合わせて[メール]を押すと、iモードメールを作成できます。

Point

- 電話帳に電話番号を登録していると、メールやGPSなどの各種履歴からも発信できます。

Information

- 待受画面で[電話帳]を押したときに表示される電話帳の検索方法を設定することができます。【電話帳検索優先設定】

国際電話

WORLD CALLを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。

✤ WORLD CALL

ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、「WORLD CALL」もご契約いただいています（不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
- 「WORLD CALL」の料金の請求方法や利用可能な料金プランなど、詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合があります。

1 「010」を入力▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶[✓]（音声電話）or [📷]（テレビ電話）

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

発信者番号通知設定 （お買い上げ時：通知する）

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

1 [MENU]▶[8]設定／NWサービス▶[8]NWサービス▶[4]番号通知▶[1]発信者番号通知▶[1]発信者番号通知設定▶[1]通知する

通知しないときには「[2]通知しない」を選択します。

Point

- 発信者番号はお客様の大切な個人情報です。通知する際には、十分にご注意ください。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号を「通知する」に設定してからかけ直してください。

Information

- 国際アクセス番号の自動変換や、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかどうかを設定できます。また、国際アクセス番号や国番号を登録／編集することができます。【国際ダイヤルアシスト設定】
- 発信ごとに発信者番号を通知したり、非通知にしたりすることができます。【発信者番号通知／非通知▷186/184】
- 電話をかけるたびに、発信時の条件を設定して電話をかけることができます。【発信オプション】

電話を受ける

基本的な着信動作を説明します。

- 電話の着信制限⇒P42

1 着信

音やランプ、ディスプレイの表示などで着信をお知らせします。

[音量キー]：着信音量の調整

[▲]：着信音、バイブレータの動作を停止

2 [通話キー]（音声電話／テレビ電話）or [テレビ電話キー]（テレビ電話）

通常スタイルでテレビ電話を受けると、相手には代替画像が表示されます。

お互いの映像を見ながらテレビ電話をするには、[テレビ電話キー]を押してカメラ画像に切り替え、ディスプレイを右回りに180度回転させてカメラを自分側に向けます。

3 通話が終わったら[終話キー]

Point

- 電話に出られなかったときには、待受画面に[不在着信アイコン 2]（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

Information

- 音声電話着信時に[通話キー]以外のキーを押して電話に出られるように設定することができます。【エニーキーアンサー設定】

通話中の操作

通話中に操作できる便利な機能です。

通話中保留

保留中はメロディが流れます。テレビ電話のときは自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

1 通話中に[●]［保留］

Point

音声電話の保留解除：[●] or [通話キー]

テレビ電話の保留解除（保留前の画像を送信）：[●]

テレビ電話の保留解除（カメラ映像を送信）：[テレビ電話キー]

テレビ電話の保留解除（代替画像を送信）：[メールキー]／[通話キー]

受話音量

通話中に受話音量を調整します。

1 通話中に[音量キー] or [▲][▼]

Point

- 音量設定の受話音量に反映されます。

Information

- 相手の声の大きさや周りの騒音に応じて、相手の声を聞き取りやすく調節したり【はっきりボイス】、相手の声のスピードを遅くしたり【ゆっくりボイス】できます。

電話に出られないとき

電話に出られない状況や場所に合わせて、利用する機能を使い分けましょう。

伝言メモ

伝言メモを「ON」にしておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

1 **（1秒以上）▶1伝言メモ設定▶1ON**

待受画面にが表示されます。

Point

- 音声電話／テレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画することができます。最大件数に達すると、待受画面にが表示され、伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
- 伝言メモを「ON」にしていなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り1回だけ用件を録音／録画することができます。
- 応答ガイダンスが流れているときや伝言メモ録音中／録画中でも、を押すと電話に出ることができます。ただし、電話に出るまでに録音／録画された内容は記録されません。

伝言メモの再生：（1秒以上）▶2▶メモを選択

公共モード

公共性の高い場所にいることや運転中であることを相手に伝える、自動応答サービスです。

公共モード（ドライブモード）

着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、切断されます。

1 **（1秒以上）**

待受画面にが表示されます。

Point

- 公共モード（ドライブモード）中は着信動作をせずに、不在着信として記録されます。

解除：（1秒以上）

公共モード（電源OFF）

電源を切っている間に着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、切断されます。

1 **「＊25251」を入力▶**

公共モード（電源OFF）を設定しても、画面上にアイコンなどは表示されません。

Point

解除：「＊25250」を入力▶

設定の確認：「＊25259」を入力▶

Information

- すぐに電話に出られないときは、着信中にを押すと応答保留にできます。応答保留にすると相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。【応答保留】

ネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
メロディコール	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスは利用できません。
- お申し込み、詳しいサービス内容については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/html/product/officeed/）をご確認ください。

ネットワークサービスの設定

代表的なネットワークサービスの操作方法を説明します。

サービス名	操作方法
留守番電話サービス	MENU▶8設定／NWサービス▶8NWサービス▶1留守番電話▶1留守番電話サービス▶次の操作を行う 開始：1▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力 停止：3▶「はい」 再生：5▶1 or 2▶「はい」▶ガイダンスに従って操作
キャッチホン	MENU▶8設定／NWサービス▶8NWサービス▶2キャッチホン／転送でんわ▶1キャッチホン▶次の操作を行う 開始：1▶「はい」 停止：2▶「はい」
転送でんわサービス	MENU▶8設定／NWサービス▶8NWサービス▶2キャッチホン／転送でんわ▶2転送でんわ▶次の操作を行う 開始：1▶「はい」▶「はい」▶電話番号を入力▶[カメラ]▶「はい」▶呼出時間を入力 停止：2▶「はい」

Point

- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは、呼出時間を「0秒」にすると着信履歴に記録されません。
- キャッチホン開始後に、音声通話中に別の音声電話を着信したときは[通話キー]で応答します。保留相手がいるときは、[iαキー]で通話相手を切り替えられます。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しています。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

海外利用

海外でもFOMA端末で通話したり、ｉモードが利用できたりします。

✤ 国際ローミング（WORLD WING）

海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。ご利用の際にはWORLD WINGのお申込状況をご確認ください。

- 3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用可能です。利用可能なエリアを確認してください。
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様はWORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、次の条件に当てはまるお客様は、お申し込みが必要です。
  - FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様
  - 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - データBOX内のマイドキュメントにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。
- 通信事業者や地域によっては利用できないサービスもあります。詳細は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」を確認してください。

通信サービス	ネットワーク		
	3G 3G※1	GPRS GPRS※2	GSM GSM
音声電話	○	○	○
テレビ電話※3	○	×	×
ｉモード／フルブラウザ接続※4	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS	○	○	○
ｉチャネル※5	○	○	×
ｉコンシェル※5、6	○	○	×
ｉウィジェット※5、7	○	○	×
GPSの現在地確認※8	○	○	×
パケット通信（パソコン接続）※9	○	○	×

※1 3Gのときは、音声電話とSMSの発着信、パケット通信を伴わないGPSの現在地確認が利用できます。3Gのときは、音声電話を除くすべての通信サービスが利用できます。

※2 [icon]のときは、音声電話、テレビ電話を除くすべての通信サービスが利用できます。
※3 海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。
※4 iモード利用設定が必要です。
テレビリンク一覧からのデータ放送サイトへの接続を含みます。ただし、海外でワンセグ視聴はできません。
※5 情報の受信ごとにパケット通信料がかかります。iチャネルのベーシックチャネルの自動更新およびiウィジェットの複数アプリによる通信も含みます。
※6 iコンシェルの海外利用設定が必要となります。
※7 iウィジェットローミング設定が必要となります。
※8 パケット通信を伴う精度の高い現在地確認です。
※9 海外では64Kデータ通信（パソコン接続）は利用できません。

滞在国で電話をかける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 **[0]（1秒以上）**

「+」が入力されます。

2 **国番号（日本の場合は「81」）▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）**

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

1 **電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）▶「元の番号で発信」**

メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

1 **[0]（1秒以上）▶「81」を入力▶先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）**

Point

- 同じ滞在国にいる相手にかけても日本からの国際転送となるので、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

滞在国で電話を受ける

1 **電話がかかってくる▶[発信]（音声電話）or [iα]（テレビ電話）**

Point

- いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となり、発信者には日本までの通話料、着信者には着信料がかかります。

帰国後の設定

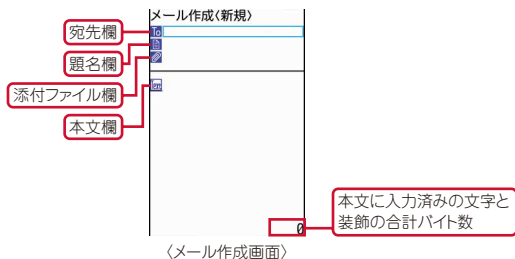
帰国後に電源を入れても自動的にFOMAネットワークに接続されない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定し直してください。

メール送信

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間だけでなく、インターネット経由でe-mailのやりとりができます。

- ｉモードメールの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 [✉]（1秒以上）

次の画面が表示されます。

〈メール作成画面〉

2 宛先、題名、本文を入力▶[📷]［送信］

送信に成功したメールは、自動的に送信メールのフォルダに保存されます。

Point

宛先を追加（同報送信）：メール作成画面で宛先欄にカーソル▶[✉]

ファイルの添付

最大10件、合計2Mバイトまでの画像や音声、動画／ｉモーションなどを添付することができます。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルを選択▶メールを編集▶[📷]［送信］

Point

- 受信側の端末が対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されたり、正しく表示や再生されない場合があります。
- 大きなサイズのファイルを添付すると、送信までに時間がかかります。また、送信後に送信メールのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

添付ファイルの解除：メール作成画面で添付ファイル名にカーソル▶[✉]▶「はい」

添付ファイルの変更：メール作成画面で添付ファイル名にカーソル▶[iα]

Information

- メールに自動的に署名を挿入することができます。【🔍署名】
- メールアドレスのわからない相手に、携帯電話番号を宛先にしてメッセージを送信することができます。【🔍SMS】

デコメール®／デコメアニメ®

装飾（デコレーション）や画像を利用して、楽しいメールを作成できます。

デコメール®

文字サイズや背景色の変更、静止画やデコメ®ピクチャ、デコメ®絵文字の挿入ができます。装飾を指定してから文字を入力する方法と、文字を入力してから装飾を指定する方法があります。

〈例〉装飾を指定してから文字を入力

1 メール作成画面で本文欄を選択▶［✉］［デコレーション］

2 装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の種類は次のとおりです。

アイコン	機能	アイコン	機能	アイコン	機能
	画像挿入		文字色変更		文字サイズ変更
	背景色変更		点滅		テロップ
	スウィング		文字位置		ライン挿入

3 メールを編集▶［📷］［送信］

Point

- 本文入力画面で［MENU］▶［0］を押すと、装飾結果を確認（プレビュー）できます。プレビュー画面の右下には入力できる残りのバイト数が表示されます。画面を戻すには、［●］を押します。

デコメアニメ®

メッセージや画像を挿入したFlash画像を使って表現力豊かなメールを作成できます。

1 ［✉］▶［3］新規デコメアニメ

2 デコメアニメ®本文欄を選択▶テンプレートにカーソル

［●］を押すと、プレビュー表示できます。

3 ［📷］［読込み］

4 テキストや画像を編集

テンプレートの変更：［MENU］▶［1］デコメアニメテンプレート▶「はい」▶テンプレートにカーソル▶［📷］［読込み］

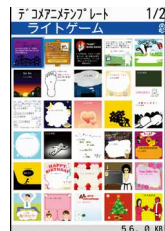
〈デコメアニメテンプレート一覧画面〉

5 ［📷］［完了］▶メールを編集▶［📷］［送信］

Point

- デコメアニメ®編集画面やテンプレートを読み込んだ後は、デコメアニメ®本文欄にカーソルを合わせて［✉］を押すと、プレビューできます。画面を戻すには、［✉］を押します。

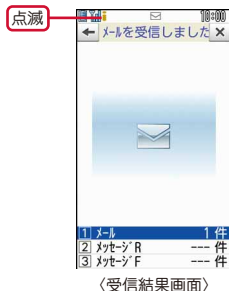
Information

- お買い上げ時に登録されているテンプレートを利用すると、簡単にデコメール®やデコメアニメ®が作成できます。【🔍メールテンプレート】

メール受信

メールは特別な操作や設定をしなくても受信します（メール自動受信）。

1 ｉモードメールを受信
右の画面が表示されます。

2 1メール▶フォルダを選択▶メールを選択

〈受信結果画面〉

Point
メールBOX内のメールを見る： ✉▶1 or 4 or 5▶フォルダを選択▶メールを選択

ｉモード問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

1 ✉▶✉［ｉ問合せ］

返信

1 受信メールの一覧画面でメールにカーソル▶📷［返信］▶1本文直接入力～6OK▶メールを編集▶📷［送信］

メール自動振り分け設定

送受信メールをフォルダに自動的に振り分けて保存することができます。

1 ✉▶9メール設定▶2メール振り分け設定▶1自動振り分け設定▶各項目を「ON」▶📷［登録］

2 2受信振り分け条件 or 3送信振り分け条件▶📷［追加］▶振り分け条件を設定▶振り分け先フォルダを選択▶優先順位を選択

Information
- ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認して、受信するメールを指定したり、受信せずに削除したりすることができます。【メール選択受信】

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。ｉモード契約は不要です。

受信設定

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 ✉▶7SMS／エリアメール設定▶2エリアメール設定▶1受信設定▶「ご注意」を確認▶利用するかどうかの欄を選択▶1利用する or 2利用しない▶📷［登録］

エリアメール受信

が点灯し、ランプの点滅や専用のブザー警報音、バイブレータの振動などで受信をお知らせします。

Point

- 通話中やおまかせロック中などは受信できません。

Information

- ブザー鳴動時間の設定や、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中の鳴動方法の設定ができます。【緊急速報「エリアメール」▷設定】

電話帳登録

電話帳にはFOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の2種類があります。ここではより多くの情報を登録できる、FOMA端末電話帳の登録方法を説明します。

1 （1秒以上）▶名前を入力

右の画面が表示されます。

2 各項目を設定

右の画面に表示されている項目のほかにも「役職名」「URL」が登録できます。

3 📷［登録］

〈電話帳の新規登録画面〉

Point

電話帳の修正：▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶MENU▶31▶項目を選択して修正▶📷▶「上書き登録」or「新規登録」

電話帳の削除：▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶MENU▶4▶1 or 2（▶全件削除では認証操作）▶「はい」

FOMAカード電話帳の登録：MENU▶44▶名前を入力▶各項目を設定▶📷

Information

- FOMA端末電話帳の電話番号やアドレスごとに着信時の動作を設定することができます。【個別着信設定】
- グループの追加／削除や、電話帳グループ（「グループなし」を除く）ごとの発着信動作を設定することができます。【グループ別発着信設定】

つながる

ｉモードサイト／ホームページの表示

ｉモードでは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのサービスを利用できます。また、フルブラウザを利用して、パソコン向けのホームページを表示することもできます。

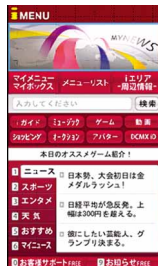
- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってはサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。
- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスを契約されることをおすすめします。

ｉモードサイトの表示

1 [iα] ▶ **表示する項目を選択**

ｉモード中はディスプレイ上部にｉが点滅します。

2 **サイトを見終わったら**[⌒] ▶ **「はい」**

パソコン向けホームページの表示

1 [MENU] ▶ [2] **ｉモード** ▶ [＊] **フルブラウザホーム**

お買い上げ時の状態では、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **ホームページを見終わったら**[⌒] ▶ **「はい」**

ブラウザの切り替え

ｉモードからフルブラウザへ：サイト表示中に[MENU] ▶ [5][2]

フルブラウザからｉモードへ：ホームページ表示中に[MENU] ▶ [7][2]

Information

- ｉモードとフルブラウザの動作は、ｉモード設定で変更します。【ｉモード／フルブラウザ ▷ ｉモード設定】

便利な機能

URL入力

1 **MENU ▶ 2 ｉモード ▶ 5 URL入力 ▶ 1 URL入力 ▶ URLを入力（半角2048文字以内）▶ ブラウザ種別欄で 1 ｉモードブラウザ or 2 フルブラウザ ▶ 📷［接続］**

確認画面で「はい（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

ブックマーク

一度見たサイトやホームページを登録しておき、すばやく表示します。

登録：サイトやホームページ表示中に MENU ▶ 1 2 ▶ タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶ 📷 ▶ 登録先フォルダを選択

表示：MENU ▶ 2 2 ▶ フォルダを選択 ▶ ブックマークを選択

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存します。

登録：サイトやホームページ表示中に MENU ▶ 2 2 ▶「はい」

表示：MENU ▶ 2 3 ▶ 画面メモを選択

Point

- キャプチャのみを保存するには、登録時の操作の最後で「表示のみ保存」を選択します。

RSSリーダー

RSSリーダーにRSSを登録すると、ホームページの最新情報を取得できます。

登録：ホームページ表示中に MENU ▶ 0 2 ▶ RSSを選択 ▶「はい」

表示：MENU ▶ 2 9 ▶ チャンネルを選択 ▶ アイテムを選択

リンク機能の利用

リンク項目から電話発信やメール送信などを行います。

1 **サイトやホームページを表示 ▶ リンク項目にカーソル ▶ ●［選択］**

選択した項目の種類によって、下記の操作ができます。

電話番号（Phone To（AV Phone To））：条件を設定して電話をかけます。

メールアドレス（Mail To）：選択したメールアドレスを宛先としてｉモードメールを作成し、送信します。

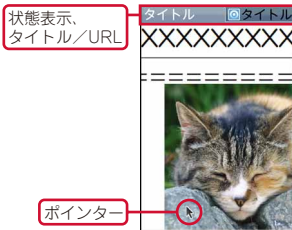
電話番号（SMS To）：選択した電話番号を宛先としてSMSを作成し、送信します。

URL（Web To）：サイトやホームページに接続されます。

ワンセグ視聴情報（Media To）：ワンセグ視聴や視聴／録画予約ができます。

画面の見かたと操作

サイトやホームページ表示中は、パソコンでインターネットを閲覧する場合と同じように文字の入力、リンク先への移動、ラジオボタンやチェックボックスの選択などができます。

スクロール： [マルチカーソル]
連続スクロール： [マルチカーソル]（1秒以上）
ページの移動： [iα]［戻る］／[メール]［進む］
タブの切り替え： [▲][▼]
タブを閉じる／ブラウザの終了： CLR ▶「はい」

〈ブラウザ画面〉

ブラウザ画面からのメニュー操作

サイトやホームページ表示中は、MENU や [カメラ] を押してさまざまな操作ができます。

できること	操作
以前表示したページに再接続	MENU ▶ 3 ▶ URLを選択
ｉMenuまたはフルブラウザホームに接続	MENU ▶ 4
情報の再読み込み	MENU ▶ 6※1 or 5※2
URL表示	MENU ▶ 7※1 or 6※2 ▶ 3
ポインターの表示／非表示	MENU ▶ 8 5 ▶ 1 or 2
ガイド表示領域の表示／非表示	MENU ▶ 8 8
表示中のホームページをホームに登録※2	MENU ▶ 8 0 ▶「はい」
URLをｉモードメールで送信	MENU ▶ 9 ▶ 1 or 2
タブを新しく開く／閉じる／切り替え	[カメラ] ▶ 1 ▶ 1～3
ページ移動、ズーム※2、ドラッグ、テキスト範囲選択／貼付など	[カメラ] ▶ 2 ▶ 1～9※1 or 1～0※2
文字サイズの変更	[カメラ] ▶ 3 ▶ 文字サイズを選択
文字列の検索	[カメラ] ▶ 4 ▶ 検索文字列の入力欄に文字を入力（全角25（半角50）文字以内）▶ [カメラ]
表示履歴／タブ一覧の表示	[カメラ] ▶ 5
PagePilot画面（ページ全体）の表示	[カメラ] ▶ 6
縦／横画面の切り替え	[カメラ] ▶ 7 ▶ 1～3
電話帳登録	電話番号やメールアドレスにカーソル ▶ [カメラ] ▶ 8 ▶ 1 or 2
画像保存	[カメラ] ▶ 9 ▶ 1～5

※1　ｉモードの場合
※2　フルブラウザの場合

しらべる

ｉチャネルの利用

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動受信した情報が待受画面にテロップ表示され、CLRを押すとチャネル一覧に表示されます。ｉチャネルには下記の2種類があります。

●ベーシックチャネル

ドコモが提供するチャネルで、情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。

●おこのみチャネル

IP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。

ベーシックチャネル、おこのみチャネルともに詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧ともに、国内の料金とは異なるパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約が必要です。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

テロップ表示されている情報の詳細を表示するには次の操作を行います。

1 待受画面でCLR▶チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

Point

- ｉチャネルの詳細情報表示中の操作は、ｉモードサイトやホームページ表示中の操作と同じです。⇒P59

Information

- ｉチャネルのテロップの表示方法を変更することができます。【ｉチャネル▷ｉチャネル設定】

地図・GPS機能の利用

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場所があります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。なお、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

地図

GPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示します。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 7 地図・GPS ▶ 1 地図**

Point
- このとき起動するのは、地図設定の地図選択で設定したｉアプリです。お買い上げ時には「地図アプリ」が設定されています。

現在地確認

自分がいる位置を確認します。現在地確認の測位をした際のパケット通信料は無料ですが、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 7 地図・GPS ▶ 6 現在地確認**

測位中は が点滅し、測位が終わると位置情報利用メニューが表示されます。

位置情報利用メニューからは、地図を見る、GPS対応ｉアプリを利用する、位置情報を貼り付けたメール作成画面を表示する、電話帳に登録する、などの操作ができます。

現在地確認
今いる場所の確認が終了しました。
測位レベル:★☆☆
1 地図を見る
2 地図･GPSアプリを利用
3 メール貼り付け
4 電話帳新規登録
5 電話帳更新登録
6 画像に付加
7 位置情報表示

〈位置情報利用メニュー〉

Information
- 設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供することができます。このサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。【GPS ▷ 位置提供】
- お買い上げ時には、さまざまな地図・GPS機能に対応したｉアプリが登録されています。【GPS対応ｉアプリ】

オートGPS

サービス提供者にお客様の現在地を定期的（おおむね5分に1回）に自動送信することで、お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報をお知らせするサービスを利用できるようになります。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリから設定してください。
- オールロック中、パーソナルデータロック中、セルフモード中、おまかせロック中は、オートGPS機能を利用できません。
- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせを確認してください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- お客様の利用方法によっては、定期的な通信によりFOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

ドコモ提供サービス設定

ドコモが提供するサービスを受けるため、ドコモに定期的に位置情報を送信するかどうかを設定します。サービスを利用するには、別途お申し込みが必要です。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 7 地図・GPS ▶ 0 オートGPS ▶ 1 ドコモ提供サービス設定 ▶「利用する」or「利用しない」

オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 7 地図・GPS ▶ 0 オートGPS ▶ 2 オートGPS動作設定 ▶ 1 ON or 2 OFF

設定サービス一覧

オートGPSサービス情報を設定しているｉアプリ名（サービス名）や利用状況を一覧で表示します。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 7 地図・GPS ▶ 0 オートGPS ▶ 3 設定サービス一覧

サービス（オートGPS機能含む）を解除： ｉアプリ名（サービス名）にカーソル ▶ MENU ▶ 1 解除 ▶「はい」

Information

- 電池残量が低下した場合にオートGPS機能を停止し、電池の消費を抑えることができます。【GPS ▷ 低電力時動作設定】

しらべる

カメラ

撮影画面の見かた

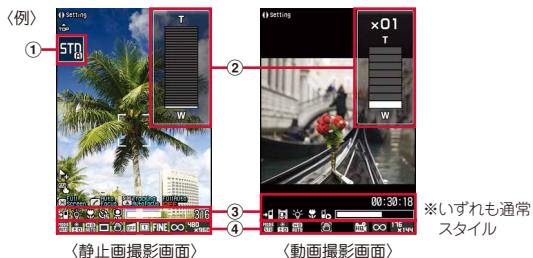
通常スタイルとビューアスタイルで撮影ができます。

〈例〉

〈静止画撮影画面〉　〈動画撮影画面〉

※いずれも通常スタイル

① 自動シーン認識アイコン • タッチすると、認識中のシーンに固定できます。	② ズーム比率 • または画面上をスライドで調整パネルが表示され、拡大／縮小できます。
③ : 保存先　: 撮影種別 : ライト　: 接写撮影 : セルフタイマー : 顔検出・スマイルファインダー : 共通再生モードインジケータ、カウンタ	④ : シーン・効果 : 明るさ : ホワイトバランス : フレーム : 手ぶれ補正 : 歪み補正 : 連続／パノラマ : 画質　: 品質 : サイズ制限 : 画像サイズ • 撮影画面でを押して設定を変更できます。

カメラ

静止画／動画の撮影

FOMA端末のカメラで静止画や動画を撮影します。

静止画撮影

1

2 **カメラを被写体に向けて［撮影］or**

ビューアスタイルでは［シャッター］をタッチします。
画面をタッチすると、その位置にピントが合います。

3 **［保存］or**

動画撮影

1 **（1秒以上）**

2 **カメラを被写体に向けて［撮影］or**

3 **撮影を終了したいときに［停止］or**

4 **［保存］or**

Point

- 画像を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置すると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 撮影待機中に約3分間操作をしないと、カメラは終了します。
- F-01Bはプールの水の中で静止画／動画撮影ができます。シーン・効果を「水中」に切り替えての撮影をおすすめします。防水性能に関する記載をよく読んでから行ってください。⇒P17

静止画／動画切り替え：撮影画面で

カメラ

さまざまな方法での静止画撮影

静止画撮影画面が表示されているときには、サブメニューから撮影方法を変更することができます。
ここでは、代表的な撮影方法を紹介します。

撮影方法	効果と操作方法
シーン・効果	カメラ起動時は被写体を認識して最適なシーンに切り替わり、ピントが合います(自動シーン認識)。 **シーン・効果の設定:** MENU ▶ 1 ▶ 項目を選択
スマイルファインダー	被写体の笑顔が設定値に達したときにシャッターが切れます。 **笑顔度の設定:** MENU ▶ 3 2 ▶ 笑顔度を選択
セルフタイマー	カメラを置いて自分を入れた写真を撮る以外にも、手ぶれ防止のために利用できます。 **シャッターが切れるまでの秒数を設定:** MENU ▶ 5 ▶ 秒数を選択
連続撮影/4コマ撮影/連続パノラマ撮影	指定した枚数での連続撮影や4コマ撮影、カメラの自動合成技術を利用したパノラマ撮影ができます。 **撮影方法の選択:** MENU ▶ 6 ▶ 撮影方法を選択

Information

- 被写体を追尾する【トラッキングフォーカス】、あらかじめ登録した人物の顔を検出する【サーチミーフォーカス】などがあります。
- 画像サイズ、画質、連続撮影枚数、自動保存、保存先、シャッター音など、撮影に関するさまざまな設定を変更することができます。【カメラ▷静止画詳細設定】

カメラ

撮影した静止画/動画を見る、編集する

静止画/動画はデータBOXに保存されます。

1 **MENU ▶ 5 データBOX ▶ 静止画は 1 マイピクチャ or 動画は 4 i モーション/ムービー ▶「カメラ」または作成フォルダ ▶ データを選択**

Point

ファイル添付のメール作成: 一覧画面でデータにカーソル ▶ ✉
ファイルを待受画面に設定: 一覧画面でデータにカーソル ▶ MENU ▶ 2 1

手書きスナップ

静止画を文字やスタンプなどで装飾することができます。

1 **MENU ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶「カメラ」または作成フォルダ ▶ データを選択**

2 **📷[手書スナップ] ▶ タッチでパレット操作**

装飾の種類は次のとおりです。

文字	文字サイズと色を選んで文字を入力し、[確定]をタッチ	スタンプ	スタンプやマイピクチャ内の画像を選び、[確定]をタッチ
ライン	太さと色を選び、[確定]をタッチ	消しゴム	装飾部分を消去

3 **タッチやスライドで位置を指定 ▶ [完了]をタッチ**

Information

- 静止画や動画はmicroSDカードに保存したり(⇒P76)、フォルダやアルバムを作って分類整理することができます。【フォルダ▷追加/削除】

ワンセグを見る

●ワンセグのご利用にあたって
ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
※「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
※海外ではワンセグは利用できません。

●電波について
ワンセグは放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。次のような場所では、正しく動作しない場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

●初めてワンセグを利用する場合の画面表示
免責事項の確認画面が表示されます。了承し「OK」を押すと、以後同様の確認画面は表示されません。

ワンセグを視聴するには、チャンネルリストを作成し、視聴する地域を設定する必要があります。

プリセットからチャンネルリストの作成　（未作成時）

あらかじめFOMA端末に登録されている放送局とチャンネルの一覧が読み込まれます。

1 **MENU▶6 LifeKit▶9 ワンセグ▶7 チャンネルリスト▶「はい」▶「プリセットから設定」**
「自動チャンネル設定」を選択すると、現在いる場所で受信できる放送局とチャンネルの検索が行われます。

2 **地域を選択▶「はい」**

利用チャンネルリストの設定

チャンネルリストが複数あるときや地域を移動した場合には、チャンネルリストの切り替えが必要です。

1 **MENU▶6 LifeKit▶9 ワンセグ▶7 チャンネルリスト▶チャンネルリストにカーソル▶✉［登録］**
チャンネル番号一覧が表示されます。チャンネルにカーソルを合わせて●を押すと、視聴することができます。

ワンセグ起動

1 **TV（1秒以上）**

Point
- 放送用保存領域とはワンセグ専用の端末内保存領域です。データ放送の指示に従ってお客様が入力された情報が、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者へ送信されたりします。放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面で「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

視聴画面の見かたと操作

全画面でワンセグを視聴したり、画面を分割してデータ放送を同時に楽しむことができます。

〈横画面（映像+データ放送）〉

選局：0～9、*、#
視聴画面の切り替え：✓
音量調整：▲▼
ビデオ録画の開始／停止：iα（1秒以上）
※ 停止する際に⌐を押すと、視聴終了（録画継続）と視聴・録画終了を選択できます。
静止画の録画：iα

Point
- 視聴中にMENUを押して表示されるサブメニューからは、視聴・録画予約、オフタイマー、なめらか表示やワンセグECOモードのオン／オフ操作などができます。

キー操作の一覧表示：視聴中にMENU▶9

視聴・録画予約

自動的にワンセグ視聴や録画を起動したり、番組の開始をアラームで知らせたりします。

1 **MENU▶6LifeKit▶9ワンセグ▶4予約／予約リスト**

2 **MENU▶1新規予約▶入力方法を選択**
「視聴予約」「録画予約」を選択した場合には、続けて日時やチャンネルなどの予約内容を設定します。
「番組表」を選択すると、番組表ｉアプリが起動します。番組表ｉアプリで番組を選んで視聴または録画予約を行うと、設定画面に予約内容が登録されて表示されます。

3 **📷［登録］**

Point
- 長時間の番組を録画する場合は、録画予約画面の「録画動作」でより空き領域の多い保存先を指定してください。

録画した番組の再生

1 **MENU▶5データBOX▶*ワンセグ▶保存場所を選択▶データを選択**

Music&Videoチャネル

夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスで、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービス契約が必要です。
- 番組によっては、Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得はできません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

番組の設定

Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要な場合があります。

1 **MENU▶9MUSIC▶2Music&Videoチャネル**

右の画面が表示されます。

〈Music&Videoチャネル画面〉

2 **「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定**

番組の再生

1 **MENU▶9MUSIC▶2Music&Videoチャネル▶番組を選択**

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：● ［PAUSE／PLAY］ or ♫

音量調整：◎ or ▲▼

巻き戻し／早送り：◎（1秒以上）

チャプターの先頭に移動：再生時間が3秒経過後◎ or ▲（1秒以上）

前のチャプター：再生時間が3秒以内に◎ or ▲（1秒以上）

次のチャプター：◎ or ▼（1秒以上）

〈Music&Videoチャネルプレーヤー画面〉

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを再生します。ミュージックプレーヤーの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

着うたフル®のダウンロード

1 サイトを表示▶着うたフル®を選択▶「保存」▶表示名を入力（全角25（半角50）文字以内）▶[カメラ][保存]

パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存

パソコンとの接続にはFOMA USB接続ケーブル（別売）などが必要です。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

1 [MENU]▶[6]LifeKit▶[2]赤外線・iC・PC連携▶[5]USBモード設定▶[3]MTPモード▶「はい」

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続する▶パソコンからWMAファイルを転送

音楽データの再生

1 [MENU]▶[9]MUSIC▶[1]ミュージックプレーヤー▶フォルダまたはプレイリストを選択▶音楽データを選択

〈ミュージックプレーヤー画面〉

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：[●]［PAUSE／PLAY］or [♫]
音量調整：[上下] or [▲][▼]
巻き戻し／早送り：[左右]（1秒以上）
曲の頭出し：再生時間が3秒経過後[左] or [▲]（1秒以上）
前の曲：再生時間が3秒以内に[左] or [▲]（1秒以上）
次の曲：[右] or [▼]（1秒以上）
クイックプレイリスト登録：[♫]（すばやく2回）
終了：[♫]（1秒以上）

Point

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- FOMA端末、microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリはｉモード対応携帯電話用のソフトで、株価や天気情報などを自動更新したり、サイトに接続していない状態でもゲームを楽しんだりすることができます。ｉウィジェットは、電卓や時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）にｉウィジェットキー（[ｉwTV]）1つでアクセスできる便利な機能です。いずれもｉモードサイトやIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることができます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- ダウンロードやｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリ（ICカード）に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ダウンロード

1 サイトを表示▶ｉアプリを選択▶ダウンロード完了後に「はい」or「いいえ」

ダウンロードしたｉアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。

ｉアプリの起動

1 [ｉα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリを選択

Point

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動：[MENU]▶[*][1]▶ｉアプリを選択
GPS対応ｉアプリを起動：[MENU]▶[6][7][5]▶ｉアプリを選択

ｉウィジェットの起動

1 [ｉwTV]▶ウィジェットアプリを選択

Information

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  「@Fケータイ応援団」（2009年9月現在）
  ｉMenu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団
  ※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

iモーション／ムービーの再生

サイトやホームページからiモーションやムービー（映像や音など）を取得することができます。

✤ 再生可能なiモーション

種類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	iモーションのデータを取得しながら再生 • 取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作可能です。
	iモーションのデータをすべて取得後に再生
ストリーミングタイプ（保存不可）	iモーションのデータを取得しながら再生 • 再生終了後、iモーションのデータは消去されます。

※ 保存できないiモーションもあります。

✤ 再生可能なムービー

種類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信	リアルタイムに配信 • 一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信

iモーション・ムービーの取得

1 サイトやホームページ表示中にiモーションやムービーを選択

データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。

Point

• ムービーのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。

動画／iモーションの再生

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 4 iモーション／ムービー ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／iモーションを選択

再生中は次のような操作ができます。

音量調整： [ ] or [ ][ ]

巻き戻し／早送り再生： [ ] or [ ][ ]（1秒以上）

一時停止／再生／先頭から再生（停止中）： [●] or [ ]

しおりを設定： [ ] ▶「はい」

停止： [ ]

たのしむ

Information

• サイトから標準タイプのiモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定することができます。【動画自動再生設定】
• FOMA端末に保存された再生制限などがないiモーションのタイトルを、最大100件まとめてプレイリストに登録することができます。【動画／iモーション ▷ プレイリスト作成／削除】
• ブルーレイディスクレコーダーに録画した番組をFOMA端末内のmicroSDカードに保存することができます。【ブルーレイディスクレコーダー連携】

おサイフケータイの利用

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができる機能です。さらに通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認することができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

おサイフケータイ対応iアプリのダウンロード

お買い上げ時は「iD 設定アプリ」「DCMXクレジットアプリ」「モバイルSuica登録用iアプリ」「マクドナルド トクするアプリ」が登録されています。他のおサイフケータイ対応iアプリを使うときには、次の操作でサイトに接続してダウンロードしてください。

1 **MENU ▶ ＊おサイフケータイ ▶ 8 iモードで探す**

サービスの初期設定

1 **MENU ▶ ＊おサイフケータイ ▶ 1 ICカード一覧 ▶ おサイフケータイ対応iアプリを選択 ▶ 画面の指示に従って設定**

おサイフケータイの利用

マークを読み取り機にかざします。このとき、おサイフケータイ対応iアプリを起動する必要はありません。

Information

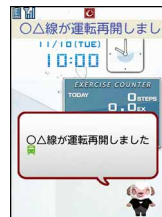
- ICカード機能を使用できないようにすることができます。⇒P41
- 機種変更や故障修理時などでおサイフケータイをお取り替えになる際、ICカード内のデータを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができます。【iCお引っこしサービス】
- おサイフケータイでは、読み取り機やサイトなどからクーポン券などの電子カード【トルカ】を取得することができます。取得したトルカは、メールや赤外線通信などで他のFOMA端末と交換することもできます。

iコンシェルの利用

iコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）がお客様の生活をサポートするサービスです。お客様からお住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳などをお預かりして、お客様の生活エリアや居場所、趣味趣向にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。また、FOMA端末内のスケジュールやトルカなどを自動更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりします。

- iコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスの契約のないお客様がiコンシェルにご契約になると、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- iコンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要です。海外でご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります（国内での通信料とは異なります）。
- コンテンツによっては、iコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- iスケジュール・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

インフォメーション受信と詳細表示

インフォメーションは自動で送られてきます。インフォメーションを受信すると右の画面が表示されます。

〈インフォメーション受信画面〉

1 MENU▶# iコンシェル▶インフォメーションを選択

インフォメーションにスケジュールやトルカの添付、サイトへのリンク項目がある場合は、アイコンを選択すると内容を確認できます。

海外での利用 （お買い上げ時：利用しない）

1 MENU▶# iコンシェル

2 MENU▶「設定」▶「基本設定」▶「プロフィール設定／海外利用設定」▶「海外利用設定」▶設定を変更

Information

- iコンシェルのインフォメーション受信時に、待受画面や背面ディスプレイに表示するかどうかを設定できます。【インフォメーション表示設定】

スケジュール帳

FOMA端末でスケジュールを管理することができます。

スケジュールの登録

1 Ⓞ ▶ MENU ▶ 1 **新規作成**

右の画面が表示されます。

2 **Ⓞで新規作成画面、スケジュール連絡先画面、アラーム設定画面、その他の設定画面に切り替えながら各項目を設定**

3 📷［登録］

〈スケジュール新規作成画面〉

Point

待受画面からの簡単な登録（クイックスケジュール）： 待受画面で日付を入力（11月25日10時0分の場合、「11251000」）▶ Ⓞ ▶ スケジュールの登録

スケジュールの確認

1 Ⓞ ▶ **スケジュールの登録日を選択** ▶ **スケジュールを選択**

Information

- スケジュール帳には、ｉコンシェルからダウンロードしたｉスケジュールや電話帳に登録した誕生日などを表示できる「ノーマル」と、カレンダー画面のスクロール動作や拡大表示を変更できる「クラシック」という2つのタイプがあります。【🔍スケジュール帳 ▷ スケジュール帳表示設定】

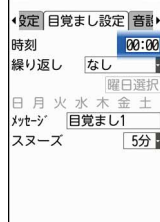
目覚まし

指定した時刻に目覚ましを鳴らします。目覚ましが鳴った後にワンセグが起動するように設定することもできます。

1 Ⓞ（1秒以上）▶ 1 ～ 7 **のいずれかを選択**

右の画面が表示されます。

2 **Ⓞで目覚まし設定画面、音設定画面、ワンセグ設定画面、その他設定画面に切り替えながら各項目を設定**

3 📷［登録］

〈目覚まし設定画面〉

Point

- 目覚まし設定画面の「繰り返し」を「曜日指定」にすると、特定の曜日に目覚ましを鳴らすことができます。「スヌーズ」には30分間での鳴動間隔を指定します。
- ワンセグ設定画面の「ワンセグ利用」を「する」にすると、目覚まし終了時または停止時にワンセグが起動し（目覚ましワンセグ）、「オフタイマー」に指定した時間経過後に終了します。
- 目覚ましが鳴っているときには、約1分間何も操作しない、⌒と TV と ▯ 以外のキーを押す、タッチ操作、ダブルタップのいずれかで、目覚ましが停止またはスヌーズ動作になります。⌒を押すと終了します。

Information

- 電源を切っていても目覚ましの時刻に電源が入るように設定することができます。【🔍アラーム自動電源ON設定】

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード、CODE128コードの情報を読み取って利用することができます。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 1 バーコードリーダー

2 カメラをコードに合わせる

コードの読み取りが完了すると確認音が鳴ってデータが表示されます。読み取り後の画面から、サブメニューでコピーや保存の操作をします。データによっては、その画面から電話帳への登録やメール作成、サイトやホームページへの接続などができます。

〈読み取り中画面〉

Point

- 大きなサイズのコードを読み取るときは、# を押して接写撮影をOFFに切り替えてください。また、 を押してズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などによって、読み取れない場合があります。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節やオートフォーカスの利用により、読み取れることがあります。

待受ショートカット

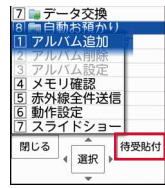
よく使う機能やフォルダ、ファイルなどをアイコンとして待受画面に貼り付けます（ショートカット）。ショートカットを選択するとすぐに起動できます。

〈例〉機能のショートカットを貼り付ける

1 ● ▶ ショートカットにカーソル ▶ MENU ▶ 📷［追加］▶ 機能にカーソル ▶ 📷［待受貼付］

〈例〉マイピクチャのフォルダのショートカットを貼り付ける

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶ フォルダにカーソル ▶ MENU

カーソルを合わせてサブメニューを表示させたときガイド表示領域に「待受貼付」と表示されるフォルダやファイルは、待受ショートカットに設定することができます。

待受ショートカットに設定できる場合に表示

2 📷［待受貼付］

Point

- ショートカットの順番やアイコン、タイトルは、待受ショートカット一覧画面のサブメニュー操作で変更することができます。

Information

- 機能や電話帳を自由に選んで、自分だけのメニューを作ることができます。【セレクトメニュー】

クイック検索

待受画面が表示されているときや機能実行中に検索機能を利用することができます。

1 待受画面や機能実行中に［検索］▶［メール］で検索機能を切り替え

各検索機能での検索方法は次のとおりです。

	iモード	入力欄にキーワードを入力
	フルブラウザ	検索サービス欄を選択▶検索サービスを選択▶入力欄にキーワードを入力
	地図	**ロケーションレーダーで検索：**カテゴリ選択欄を選択▶1～5（▶5のときは入力欄にキーワードを入力） **地図で検索：**「地図 ← ロケーションレーダー」▶入力欄にキーワードを入力
	使いかたガイド	入力欄にキーワードを入力
	辞典	辞典選択欄を選択▶1～3▶入力欄にキーワードを入力
	電話帳	入力欄にキーワードを入力
	メール	**題名／本文で検索：**メール検索選択欄を選択▶1 or 2▶入力欄にキーワードを入力 **電話帳で検索：**メール検索選択欄を選択▶3 or 4▶入力欄にキーワードを入力

2「検索」

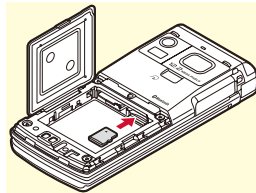
検索結果が表示されます。

microSDカードを利用する

F-01Bは、市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2009年9月現在）。最新の動作確認情報は、FMWORLD（http://www.fmworld.net/）などでご確認ください。

取り付け

1 FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（右図）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む

※ microSDカードを取り外すには、microSDカードを軽く押し、飛び出させてから引き出します。

初期化

microSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください。

1 MENU▶6LifeKit▶3microSD▶［カメラ］［初期化］▶完全初期化▶認証操作▶「はい」

Point

- すでに初期化済みのmicroSDカードは、「簡易初期化」によって必要最小限の処理で初期化することができます。初期化によって、microSDカード内のデータはすべて消去されます。

FOMA端末とmicroSDカード間でデータをやり取りする

FOMA端末内の大切なデータは、microSDカードに保存しましょう。

microSDカードへ移動／コピー

〈例〉画像の移動／コピー

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶ フォルダを選択

2 データにカーソル ▶ MENU ▶ 5 移動／コピー ▶ 4 microSD へ移動 or 5 microSD へコピー ▶ 1 1件〜 3 全件 ▶「はい」

Point

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは移動やコピーができません。

FOMA端末へ移動／コピー

〈例〉マイドキュメントの移動／コピー

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 3 マイドキュメント ▶ フォルダを選択

2 データにカーソル ▶ MENU ▶ 3 移動／コピー ▶ 1 本体へ移動 or 2 本体へコピー ▶ 1 1件〜 3 全件 ▶「はい」

microSDカードのデータ表示

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 1 マルチメディア〜 9 その他 ▶ フォルダを選択 ▶ データを選択

一括バックアップ

FOMA端末の電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、設定項目データを一度にmicroSDカードにバックアップすることができます。2回目以降は上書き保存になります。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 8 バックアップ／復元 ▶ 1 microSDへバックアップ

2「はい」▶ 認証操作

電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。

3「はい」or「いいえ」

Point

- 電話帳に登録されている動画、100Kバイトを超えた分のメール添付ファイルはバックアップされないなど、いくつかの制限があります。
- 操作1の最後で「2 本体へ復元」を選択すると、FOMA端末側の最新データは削除され、上書き保存されます。

Information

- パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作することができます。【USBモード設定】
- microSDカードの使用量を確認したり、他の機器で変更、追加、削除したデータを正しく認識させるためのメニューがあります。【microSDカード ▷ 使用状況／情報更新】
- FOMA端末内の保存データをドコモのお預かりセンターに預けることができます。【ケータイデータお預かりサービス】

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。Bluetooth機器の使用方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

※ すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✤ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR

✤ Bluetooth機能でできること

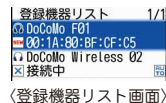
- カーナビなどのBluetooth機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリーで通話できます。また、Bluetoothヘッドセット F01（別売）などとFOMA端末をBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、音声や音楽などをワイヤレスで再生したり、リモコン操作したりできます。
- Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信ができます。
- Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth接続して、電話帳（プロフィール情報）を送受信できます。
- 他の携帯電話やBluetooth機器と接続して、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、データを交換したりできます。

Bluetooth機器の登録

登録するBluetooth機器をあらかじめ登録待機状態にしてください。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ ＊ Bluetooth ▶ 3 新規機器登録 ▶「OK」**

Bluetooth機器がサーチされた後、右の画面が表示されます。

〈登録機器リスト画面〉

2 **登録するBluetooth機器を選択 ▶ Bluetoothパスキーを入力**

サービス選択画面が表示されます。続けてBluetooth接続する場合は「Bluetooth機器との接続」操作2に進みます。

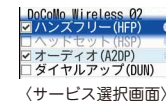
Point

- Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。FOMA端末どうしで登録する場合は、双方で同じBluetoothパスキーを入力します（数字4～16桁のBluetoothパスキーを決めておいてください）。ワイヤレスイヤホンセット 02の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です。

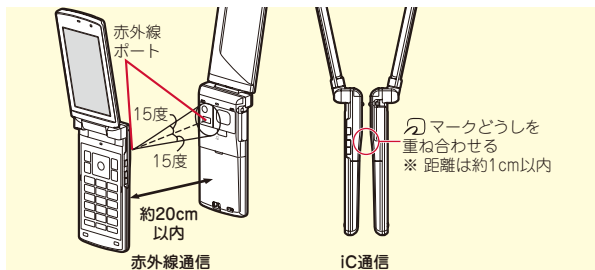
Bluetooth機器との接続

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ ＊ Bluetooth ▶ 2 登録機器リスト ▶ 接続するBluetooth機器を選択**

右の画面が表示されます。

〈サービス選択画面〉

2 **接続するサービスを選択 ▶ 📷［接続］**

赤外線通信／iC通信

赤外線通信機能やiC通信機能が搭載されたFOMA端末などとデータの送受信ができます。相手側の赤外線ポートやマークの位置を確認し、下図を参考に通信してください。

Point

- 全件送受信の場合は、送受信側であらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておきます。赤外線の場合は、先に受信側の端末を待機状態にします。
- 全件送受信では、受信側に保存されていたデータは削除され、新しく受信したデータが保存されます。ただし、削除されない場合（「プリインストール」フォルダ内のデータなど）や保存先、フォルダ名、データの並び順などが送信側と異なる場合があります。

電話帳の1件赤外線／iC送信

1 送りたい電話帳にカーソル▶MENU▶8赤外線／iC／BT送信▶1赤外線送信 or 3iC送信▶「はい」

データの全件赤外線／iC送信

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶2赤外線全件送信 or 3iC全件送信▶送信項目を選択▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」

データの1件赤外線受信

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶1赤外線受信▶1受信▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」

データの1件iC受信

1 送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

データの全件赤外線受信

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶1赤外線受信▶2全件受信▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」

データの全件iC受信

1 送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶認証操作▶認証パスワード入力▶再度マークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

故障かな？と思ったら

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。⇒P82
気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

✜ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中のランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。アダプタの電源プラグまたはシガーライタプラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電が行われない場合があるため、ご使用後にFOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

✜ 端末操作

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●キー操作やタッチ操作をしても動作しない

オールロック、おまかせロック、HOLD、開閉ロック、画面オフロック、タッチロックを起動していませんか。

●FOMAカードが認識されない

- FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。

✜ 通話

●ダイヤルキーを押しても発信できない

オールロック、おまかせロック、セルフモード、ダイヤル発信制限、開閉ロック、画面オフロックを起動していませんか。

●通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックやFOMAカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、圏外ではなく、アンテナアイコンが3本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- メモリ別着信拒否／許可、発番号なし動作設定、メモリ登録外着信拒否、3G/GSM切替を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

✜ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。
- おまかせロックやICカードロックを起動していませんか。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

✣ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

✣ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

✤ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有していますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまったりした場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

ｉモードサイト： ｉMenu⇒お知らせ⇒サービス・機能⇒ｉモード⇒ｉモード故障診断

サイトアクセス用
QRコード

- アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料です。ただし、海外からアクセスする場合は有料となります。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要がある場合に、パケット通信を使って更新する機能です。
更新に関する情報は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3つの方法があります。
※ ソフトウェア更新のパケット通信料は無料です。
※ ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

✤ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他機能を利用できません（ダウンロード中は音声電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止されたりした場合は、再度、電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用になれません。

自動更新設定 （お買い上げ時：自動で更新）

ソフトウェア更新が必要なときに自動で更新を行うか、更新が必要なことを通知するかを選択します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 時計／入力／他 ▶ 3 ソフトウェア更新 ▶ 認証操作 ▶「自動更新設定」▶ 各項目を設定 ▶ 📷［確定］**

「自動で更新」にした場合、ソフトウェア更新が必要になると、自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面に（書き換え予告アイコン）が表示されます。アイコンを選択して、書き換えの開始時刻を確認したり、変更したりできます。
「更新の通知のみ」にした場合、更新が必要なときに待受画面に（更新お知らせアイコン）が表示されます。

即時更新

待受画面の(更新お知らせアイコン)を選択するか、メニューの項目を選択する方法があります。
ただし、サーバが混み合っているときには、即時更新ができない場合があります。

〈例〉更新お知らせアイコンを選択して更新する

1 待受画面で[●]▶(更新お知らせアイコン)を選択▶「はい」▶認証操作

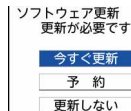
ソフトウェア更新
更新が必要です
今すぐ更新
予 約
更新しない

〈ソフトウェア更新画面〉

2 「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始

ダウンロード中止：ダウンロード中画面で[●]

サーバが混み合っているときには、更新日時を予約するか、更新を取りやめるかの選択画面が表示されます。

3 ダウンロード終了の約5秒後に自動的に書き換え開始▶書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」

予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合に、日時を予約して更新を行います。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 ソフトウェア更新画面で「予約」

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

ソフトウェア更新
希望日時を
選んでください
11/10(火) 10:00
11/10(火) 12:13
11/10(火) 13:00
11/10(火) 14:22
11/10(火) 15:15
11/10(火) 16:16
11/10(火) 17:07
11/10(火) 18:04
11/10(火) 19:41
11/10(火) 20:50
11/10(火) 21:27
その他の日時

〈希望日時選択画面〉

2 希望日時を選択▶「はい」▶「OK」

「その他の日時」を選択すると、表示されている候補以外から日時を予約することができます。設定すると待受画面に(予約アイコン)が表示されます。

ソフトウェア更新の予約確認

予約した日時の確認や変更などを行います。

1 [MENU]▶[8]設定/NWサービス▶[7]時計/入力/他▶[3]ソフトウェア更新▶認証操作▶「更新実行」

予約確認画面が表示されます。

2 内容を確認▶「OK」

Point

予約の変更：予約確認画面で「変更」▶希望日を選択▶希望時間帯を選択▶希望日時を選択▶「はい」▶「OK」

予約の取り消し：予約確認画面で「取消」▶「はい」▶「OK」

スキャン機能

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

✤ スキャン機能を利用する前に

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。また当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

自動更新設定

パターンデータを自動で更新するように設定します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶8スキャン機能▶2自動更新設定▶「有効」▶「はい」▶「はい」▶「OK」**

パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面に が表示されます。

警告レベル	スキャン結果画面	対処方法
0	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細	**「OK」**：起動中のアプリケーションの処理を続行する
1	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する **「いいえ」**：起動中のアプリケーションの処理を続行する
2	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する
3	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 詳細	**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する **「いいえ」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する
4	問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細	**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する

※ それぞれの画面で「詳細」を選択すると、検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。問題要素が6個以上の場合、6個目以降の問題要素名は省略されます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F10
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F30
- リアカバー F42
- キャリングケースL 01
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※3
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※4／P02※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01※4
- イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※4
- スイッチ付イヤホンマイク P001※5／P002※5
- ステレオイヤホンセット P001※5
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- マイク付リモコン F01※4
- イヤホンターミナル P001※5
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ※6
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 骨伝導レシーバマイク 01※4／02

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※2 F-01Bを充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F-01Bと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 F-01Bと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※6 日本国内で使用してください。

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。
- 赤色の文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 端末色によって、設定されているきせかえツールは異なります。

■メール

1 1 受信メール
1 2 新規メール
1 3 新規デコメアニメ
1 4 未送信メール
1 5 送信メール
1 6 ｉモード問い合わせ
1 7 SMS／エリアメール設定
1 7 1 SMS
1 7 1 1 SMS作成
1 7 1 2 FOMAカード（UIM）受信SMS
1 7 1 3 FOMAカード（UIM）送信SMS
1 7 1 4 SMS設定
1 7 1 5 SMS問い合わせ
1 7 2 エリアメール設定
1 7 2 1 受信設定
1 7 2 2 ブザー鳴動時間
1 7 2 3 マナー／公共モード時設定
1 7 2 4 着信音確認
1 7 2 5 その他
1 7 2 5 1 受信登録
1 8 メール選択受信
1 9 メール設定
1 9 1 着信設定
1 9 1 1 メール着信設定
1 9 1 2 メッセージR着信設定
1 9 1 3 メッセージF着信設定
1 9 2 メール振り分け設定
1 9 3 署名設定
1 9 4 メール返信設定
1 9 4 1 メール返信引用設定
1 9 4 2 クイック返信設定
1 9 4 3 クイック返信本文登録
1 9 5 メールグループ
1 9 6 受信・表示設定
1 9 6 1 受信・自動送信表示設定
1 9 6 2 メール選択受信設定
1 9 6 3 メール受信添付ファイル設定
1 9 6 4 添付ファイル自動再生設定
1 9 6 5 メール一覧表示設定
1 9 6 6 メッセージ自動表示設定
1 9 6 7 アドレス・迷惑メール設定
1 9 7 編集時自動保存設定
1 9 8 ｉモード問い合わせ設定
1 * テンプレート
1 * 1 デコメール
1 * 2 デコメアニメ

■ｉモード

2 1 ｉMenu 検索
2 2 Bookmark
2 3 画面メモ
2 4 ラストURL
2 5 URL入力
2 6 ｉチャネル
2 7 ｉモード設定
2 8 ツータッチサイト
2 9 RSSリーダー
2 * フルブラウザホーム
2 0 検索サービス

■ｉアプリ

3 1 ソフト一覧
3 2 ｉアプリコール履歴
3 3 ｉアプリ設定
3 3 1 ソフトの並べ替え
3 3 2 自動起動設定
3 3 3 ソフト情報表示設定
3 3 4 照明点灯時間設定
3 3 5 バイブレータ設定
3 3 6 ｉアプリ音量
3 3 7 ｉウィジェット設定
3 3 7 1 ｉウィジェット効果音設定
3 3 7 2 ｉウィジェットローミング設定
3 3 8 ｉアプリコールダウンロード設定
3 3 9 オートGPS優先設定
3 4 履歴表示
3 5 ツータッチｉアプリ表示
3 6 ｉアプリについて

■電話帳／履歴

4 1 電話帳検索
4 2 電話帳登録
4 3 電話帳グループ追加
4 4 FOMAカード（UIM）登録
4 5 着信履歴
4 6 リダイヤル
4 7 伝言メモ／音声メモ
4 7 1 伝言メモ設定
4 7 2 伝言メモ一覧
4 7 3 音声メモ録音
4 7 4 音声メモ一覧
4 8 メール送受信履歴
4 8 1 メール送信履歴
4 8 2 メール受信履歴
4 9 プロフィール情報

■データBOX

5 1 マイピクチャ
5 2 ミュージック
5 3 Music&Videoチャネル
5 4 ｉモーション／ムービー
5 5 メロディ
5 6 マイドキュメント
5 7 きせかえツール
5 8 マチキャラ
5 9 キャラ電
5 * ワンセグ
5 0 その他

■LifeKit

- 6 1 バーコードリーダー
- 6 2 赤外線・iC・PC連携
- 6 2 1 赤外線受信
- 6 2 2 赤外線全件送信
- 6 2 3 iC全件送信
- 6 2 4 データ送受信設定
- 6 2 5 USBモード設定※1
- 6 3 microSD
- 6 4 カメラ
- 6 4 1 静止画撮影
- 6 4 2 動画撮影
- 6 5 サウンドレコーダー
- 6 6 ケータイデータお預かりサービス
- 6 6 1 データ確認／更新方法等
- 6 6 2 通信履歴表示
- 6 6 3 電話帳内画像送信設定
- 6 6 4 電話帳等のお預かり／更新
- 6 6 5 設定のお預かり／更新
- 6 6 6 画像のお預かり
- 6 7 地図・GPS
- 6 7 1 地図
- 6 7 2 イマドコサーチ
- 6 7 3 イマドコかんたんサーチ
- 6 7 4 ｉエリア一周辺情報一
- 6 7 5 地図・GPSアプリ
- 6 7 6 現在地確認
- 6 7 7 位置履歴
- 6 7 8 現在地通知
- 6 7 9 地図・GPS設定
- 6 7 9 1 地図設定
- 6 7 9 1 1 地図選択
- 6 7 9 1 2 地図起動時動作設定
- 6 7 9 2 現在地確認設定
- 6 7 9 2 1 現在地確認後動作設定
- 6 7 9 2 2 測位モード設定
- 6 7 9 2 3 測位動作設定
- 6 7 9 3 現在地通知設定
- 6 7 9 3 1 現在地通知先一覧
- 6 7 9 3 2 測位モード設定
- 6 7 9 3 3 測位動作設定
- 6 7 9 4 位置提供設定
- 6 7 9 4 1 位置提供可否設定
- 6 7 9 4 2 測位モード設定
- 6 7 9 4 3 サービス利用設定
- 6 7 9 4 4 サービス利用／接続設定
- 6 7 9 4 5 測位動作設定
- 6 7 9 4 5 1 位置提供／許可
- 6 7 9 4 5 2 位置提供／毎回確認
- 6 7 0 オートGPS
- 6 7 0 1 ドコモ提供サービス設定
- 6 7 0 2 オートGPS動作設定
- 6 7 0 3 設定サービス一覧
- 6 7 0 4 オートGPS履歴
- 6 7 0 5 低電力時動作設定
- 6 8 ウォーキング／Exカウンター
- 6 8 1 歩数／活動量／カロリー情報
- 6 8 2 ウォーキング／Exカウンター設定
- 6 9 ワンセグ
- 6 9 1 ワンセグ視聴
- 6 9 2 番組表
- 6 9 3 録画した番組
- 6 9 4 予約／予約リスト
- 6 9 5 録画予約履歴
- 6 9 6 テレビリンク
- 6 9 7 チャンネルリスト
- 6 9 8 ユーザ設定
- 6 9 8 1 画面設定
- 6 9 8 2 音声設定
- 6 9 8 3 データ放送設定
- 6 9 8 3 1 表示・効果設定
- 6 9 8 3 2 ワンセグからトルカ取得
- 6 9 8 3 3 放送用保存領域削除
- 6 9 8 3 4 確認表示設定リセット
- 6 9 8 4 クローズ動作設定
- 6 9 8 5 再生設定
- 6 9 8 6 録画設定
- 6 * Bluetooth
- 6 * 1 Bluetoothオン／オフ
- 6 * 2 登録機器リスト
- 6 * 3 新規機器登録
- 6 * 4 接続待機
- 6 * 5 ダイヤルアップ登録待受
- 6 * 6 Bluetooth受信
- 6 * 7 Bluetooth設定
- 6 * 7 1 サーチ時間
- 6 * 7 2 自局情報
- 6 * 7 3 セキュリティ設定
- 6 * 7 4 着信音送出設定
- 6 * 7 5 全件転送パスワード設定
- 6 * 7 6 MUSIC Player自動起動
- 6 * 8 接続機器表示
- 6 0 使いかたガイド

■アクセサリー

- 7 1 スケジュール帳
- 7 2 テキストメモ
- 7 3 目覚まし
- 7 4 電卓
- 7 5 辞典
- 7 5 1 国語辞典（学研モバイル国語辞典）
- 7 5 2 和英辞典（学研モバイル和英辞典）
- 7 5 3 英和辞典（学研モバイル英和辞典）
- 7 5 4 今日は何の日
- 7 5 5 今日の歴史
- 7 6 お知らせタイマー
- 7 7 ワンタッチアラーム設定
- 7 8 イミテーションコール
- 7 8 1 イミテーションコール開始
- 7 8 2 イミテーションコール設定

■設定／NWサービス※2

- 8 1 音／バイブ
- 8 1 1 音設定
- 8 1 1 1 電話着信音
- 8 1 1 1 1 電話着信音
- 8 1 1 1 2 テレビ電話着信音
- 8 1 1 1 3 発番号なし動作設定
- 8 1 1 2 メール・メッセージ着信音
- 8 1 1 2 1 メール着信音
- 8 1 1 2 2 メッセージR着信音
- 8 1 1 2 3 メッセージF着信音
- 8 1 1 3 ｉコンシェル着信音
- 8 1 1 4 GPS測位鳴動音
- 8 1 1 4 1 現在地確認
- 8 1 1 4 2 現在地通知
- 8 1 1 4 3 位置提供／許可
- 8 1 1 4 4 位置提供／毎回確認

8115 アラーム音
81151 目覚まし音
81152 スケジュール音
8116 操作確認音
81161 キー／タッチ確認音
81162 開閉操作音
81163 静止画撮影シャッター音
81164 動画撮影シャッター音
8117 充電確認音
8118 通話保留・警告音
81181 応答保留ガイダンス設定
81182 通話保留音
81183 通話品質アラーム音
81184 再接続アラーム音
81185 電池アラーム音
8119 メロディコール設定
812 音量設定
8121 電話着信・受話音量
81211 電話着信音量
81212 受話音量
8122 メール・メッセージ着信音量
8123 GPS測位鳴動音量
8124 ｉコンシェル着信音量
8125 アラーム音量
81251 目覚まし音量
81252 目覚ましワンセグ音量
81253 スケジュール音量
8126 ｉアプリ音量
8127 トルカ取得音量
8128 操作確認音量
8129 メロディ音量
813 バイブレータ設定
8131 電話着信時
81311 電話着信時
81312 テレビ電話着信時
8132 メール・メッセージ着信時
81321 メール着信時
81322 メッセージR着信時
81323 メッセージF着信時
8133 GPS測位時
81331 現在地確認時
81332 現在地通知時
81333 位置提供／許可時
81334 位置提供／毎回確認時
8134 ｉコンシェル着信時
8135 アラーム鳴動時
81351 目覚まし鳴動時
81352 スケジュール鳴動時
8136 ｉアプリ利用時
814 マナーモード選択
815 呼出動作開始時間設定
816 ステレオ効果設定
8161 動画（ｉモーション／ムービー）
8162 メロディ
8163 ミュージックプレーヤー
8164 ワンセグ
8165 Music&Videoチャネル
817 音楽再生音優先設定
82 ディスプレイ
821 待受画面設定
8211 待受画面選択
8212 時計表示設定
8213 電池アイコン設定
8214 アンテナアイコン設定
8215 カレンダー／待受カスタマイズ
8216 ｉチャネル設定
8217 待受ショートカット
8218 新着アニメ
8219 インフォメーション表示設定
822 メニュー設定
8221 表示メニュー設定
8222 セレクトメニュー登録
8223 リセット
82231 メニュー操作履歴リセット
82232 メニュー設定オールリセット
823 各種画面設定
8231 スクリーン設定
8232 電話発着信画像設定
82321 電話発信設定
82322 電話着信設定
82323 テレビ電話発信設定
82324 テレビ電話着信設定
82325 発番号なし動作設定
8233 メール送受信画像設定
82331 メール送信画像設定
82332 メール受信画像設定
82333 メール着信結果画像設定
82334 問い合わせ画像設定
8234 テレビ電話画像選択
8235 着信表示設定
82351 電話／メール着信時設定
82352 不在着信お知らせ
8236 人物画像表示設定
824 照明／キーバックライト設定
8241 照明点灯時間設定
8242 画面オフ時間設定
8243 明るさ調整
8244 キーバックライト設定
825 イルミネーション設定
8251 着信イルミネーション
8252 通話中イルミネーション
8253 GPS測位イルミネーション
8254 ICカードアクセスイルミネーション
8255 開閉イルミネーション
826 文字表示設定
8261 文字サイズ設定
8262 フォント選択
8263 Select language
827 マチキャラ設定
828 省電力設定
8281 省電力モードON／OFF
8282 省電力動作設定
829 背面自動点灯設定
820 プライバシービューレベル設定
82* リスト幅設定
83 きせかえ／ライフスタイル
831 きせかえツール
832 トータルカスタマイズ
833 ライフスタイル設定
84 セキュリティ／ロック
841 ロック
8411 開閉ロック
8412 画面オフロック
8413 オールロック
8414 パーソナルデータロック
8415 ICカードロック

その他

84151 ICカードロック
84152 ICカードロック時動作設定
84153 ICカードオートロック設定
84154 ICカードロック解除予約
84155 電源OFF時ICロック設定
8416 ダイヤル発信制限
842 プライバシーモード
8421 電話／メールの設定
8422 その他の表示設定
8423 プライバシーモード起動設定
8424 シークレット反映
843 セキュリティランプ設定
844 親子モード
845 電話／メール着信時設定
846 FOMAカード（UIM）
847 暗証番号／指紋設定
8471 暗証番号変更
8472 指紋登録
8473 登録済み指紋一覧
8474 指紋のみ認証設定
848 スキャン機能
8481 パターンデータ更新
8482 自動更新設定
8483 スキャン機能設定
8484 バージョン表示
849 パスワードマネージャー
840 microSDパスワード設定
8401 パスワード登録
8402 パスワード変更
8403 パスワード削除
8404 microSD強制初期化
85 発着信・通話機能
851 電話発着信設定
8511 電話発信設定
8512 電話着信設定
8513 発着信番号表示設定
852 発番号なし動作設定
853 エニーキーアンサー設定
854 イヤホン機能設定
8541 イヤホン切替設定
8542 オート着信設定
8543 イヤホンスイッチ発信設定
855 メモリ着信拒否／許可
8551 メモリ別着信拒否／許可
8552 メモリ登録外着信拒否
856 発着信詳細設定
8561 マルチアクセス中表示
8562 プレフィックス設定
8563 サブアドレス設定
857 通話詳細設定
8571 ノイズキャンセラ設定
8572 通話中クローズ設定
858 セルフモード設定
86 テレビ電話
861 テレビ電話発信設定
862 テレビ電話着信設定
863 テレビ電話動作設定
864 パケット通信中着信設定
865 テレビ電話画像選択
866 テレビ電話使用機器設定
867 テレビ電話切替機能通知
87 時計／入力／他
871 時計
8711 日付時刻設定※3
8712 自動電源ON設定
8713 自動電源OFF設定
8714 時計表示設定
8715 アラーム自動電源ON設定
8716 ライフスタイル設定
8717 時報設定
8718 デュアル時計設定
872 文字入力設定
8721 単語登録
8722 ダウンロード辞書
8723 変換学習リセット
8724 定型文
8725 入力設定
8726 マルチリンガル利用設定
873 ソフトウェア更新※4
874 情報表示／リセット
8741 通話料金・時間機能
87411 通話時間
87412 通話料金
874121 通話料金表示
874122 通話料金上限通知
874123 上限通知アイコン消去
874124 通話料金自動リセット設定
8742 リモート機能設定確認
8743 メモリ確認
8744 電池残量
8745 各種設定リセット
8746 データ一括削除
8747 初期設定
875 サイドキー長押し設定
876 モーションセンサー設定
877 フェムトセル設定
88 NWサービス
881 留守番電話
8811 留守番電話サービス
8812 件数増加鳴動設定
8813 着信通知
8814 表示消去
882 キャッチホン／転送でんわ
8821 キャッチホン
8822 転送でんわ
883 着もじ
8831 メッセージ作成
8832 メッセージ表示設定
884 番号通知
8841 発信者番号通知
8842 番号通知お願いサービス
885 OFFICEED
8851 エリア表示設定
8852 圏外転送開始
8853 圏外転送停止
8854 圏外転送設定確認
886 2in1設定
8861 2in1モード切替
8862 電話帳2in1設定
8863 モード別待受画面設定
88631 デュアルモード
88632 Aモード
88633 Bモード
8864 番号別発着信設定
88641 着信設定
886411 Aナンバー
886412 Bナンバー
88642 発着信番号表示設定

88652in1機能OFF
8866着信回避設定
88661着信回避設定変更
88662着信回避設定確認
88663モード切替連動設定
88664着信回避設定（海外）
887メロディコール設定
888その他のNWサービス
8881追加サービス
8882遠隔操作設定
8883迷惑電話ストップ
8884英語ガイダンス
8885デュアルネットワーク
8886ドコモへのお問い合わせ
8887マルチナンバー
88871通常発信番号設定
88872通常発信番号設定確認
88873電話番号設定
88874着信設定
8888通話中着信設定
8889通話中の着信動作選択
889海外ネットワークサーチ
88913G/GSM切替
8892ネットワークサーチ設定
8893優先ネットワーク設定
8894オペレータ名表示設定
880海外設定
8801ｉモード・メール設定
8802メール選択受信設定
8803ローミング時着信規制
8804ローミング着信通知設定
8805国際ダイヤルアシスト設定
88051自動変換機能設定
88052国番号設定
88053国際プレフィックス設定
8806ローミングガイダンス設定
8807在圏状態表示
88*海外用サービス

■MUSIC

91ミュージックプレーヤー
92Music&Videoチャネル

■おサイフケータイ

*1ICカード一覧
*2DCMX
*3トルカ
*4ICカードロック設定
*41ICカードロック
*42ICカードロック時動作設定
*43ICカードオートロック設定
*44ICカードロック解除予約
*45電源OFF時ICロック設定
*5トルカ設定
*51トルカ取得確認設定
*52ICカードからトルカ取得
*53自動読取機能設定
*54トルカ振り分け設定
*55ワンセグからトルカ取得
*6ICオーナー確認
*7ICオーナー変更
*8ｉモードで探す

■プロフィール

0プロフィール情報

■ｉコンシェル

#ｉコンシェル

※1 USBケーブル接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。
※2 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※3 各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイム含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。
※4 各種設定リセットを行うと、自動更新設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

主な仕様

■本体

品名		F-01B
サイズ		高さ約114mm×幅約51mm× 厚さ約17.3mm（最厚部：約21mm）
質量		約141g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約620時間 移動時（自動）：約350時間 移動時（3G固定）：約400時間
	GSM	静止時（自動）：約300時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約240分 テレビ電話時：約110分 （代替画像表示時：約140分）
	GSM	約270分
ワンセグ視聴時間※2、5		約300分 （ワンセグECOモード時：約330分）
充電時間※6		ACアダプタ：約150分 DCアダプタ：約150分
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT16,777,216色 背面ディスプレイ：有機EL単色（白）
	サイズ	ディスプレイ：約3.4inch 背面ディスプレイ：約1.4inch
	画素数	ディスプレイ：460,800画素（480ドット×960ドット） 背面ディスプレイ：11,136画素（174ドット×64ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/2.5inch
	有効画素数	約1,220万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約1,200万画素
	ズーム（デジタル）	最大約16.0倍
記録部	静止画記録枚数※7	最大約600枚（お買い上げ時） 最大約2,000枚（削除可能なプリインストールデータ削除時）
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※8	最大約52分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約106分（本体保存時・削除可能なプリインストールデータ削除時） 最大約57分（microSDカード64MB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	最大約30分（本体保存時・削除可能なプリインストールデータ削除時） 最大約640分（microSDカード2GB保存時）
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約1,256分※9 着うたフル®：約5,099分※9、10 WMAファイル：約4,767分※10 Music&Videoチャネル（音声）：約5,099分※10 Music&Videoチャネル（動画）：約321分
保存容量	着うた®※11／着うたフル®	約112MB

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。
※3 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、オートGPS機能の利用、ワンセグの視聴や録画、Bluetooth接続などを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。
※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
※5 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
※6 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
※7 静止画記録枚数とは、画像サイズが「QCIF（176×144）」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。
※8 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズが「QCIF（176×144）」、品質が「STD（標準）」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※9 AAC形式のファイルです。
※10 バックグラウンド再生に対応しています。
※11「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■電池パック

品　名	電池パック F10
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	870mAh

保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	－
FOMAカード電話帳		最大50件	－
きせかえツール※1		最大50件	－
メール※1、2	受信メール	最大2500件	最大1250件
	送信メール	最大500件	最大250件
	未送信メール	最大200件	最大100件
ブックマーク※3		最大200件	－
画面メモ※1、3		最大100件	最大100件
ミュージック※1	着うたフル®	最大100件	－
	うた文字	最大100件	－
ｉアプリ※1、4		最大100件	－
画像※1		最大2000件	－
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大200件	－
メロディ※1		最大500件	－
ワンセグ※1	ビデオ	最大10件	－
	イメージ	最大100件	－
スケジュール帳※5		最大2600件	－
テキストメモ		最大50件	－

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 ｉモードとフルブラウザの合計件数です。
※4 ｉアプリ、メール連動型ｉアプリの合計件数です。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。
※5 スケジュール、ｉスケジュール内の予定、視聴／録画予約の合計件数です。視聴／録画予約は合わせて最大100件登録できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-01Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機F-01BのSARの値は0.641W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product "F-01B" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.551W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.462W/kg, and when worn on the body, is 0.521W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http:// www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F01B).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.
※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「mopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「デコメ®」「デコメール®」「デコメアニメ®」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「セキュリティスキャン」「公共モード」「トルカ」「メッセージF」「マルチナンバー」「2in1」「おまかせロック」「ケータイデータお預かりサービス」「着もじ」「DCMX」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「OFFICEED」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「マチキャラ」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「docomo PRIME series」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Javaおよびすべてのjava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite® および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Word、Excel、PowerPointのファイル表示技術は、Picsel Technologiesにより実現しています。
  Picsel、Picsel File ViewerおよびPicselキューブロゴは、Picsel Technologiesの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- T9®はNuance Communications,Inc.および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd.またはライセンス提供元©1998-2009よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  symbian OS およびSymbian OSはSymbian Ltd.またはライセンス提供元の商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「Uni-Type」は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- FrameSolidは株式会社モルフォの日本またはその他の国における登録商標です。
- 被写体自動追尾技術には株式会社モルフォのTrackSolidを採用しております。TrackSolidは株式会社モルフォの商標です。

- Google、モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。
- ズーキーパーは株式会社KITERETSUの商標または登録商標です。
- 「日英版しゃべって翻訳 for F」は株式会社ATR-Trekの商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

その他

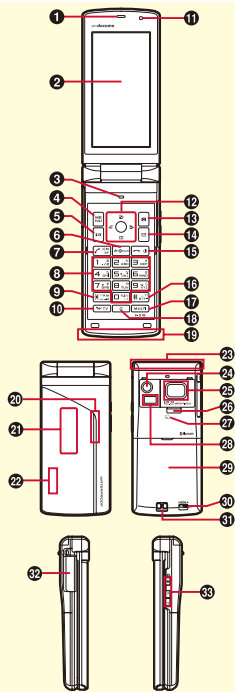
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FrameSolidは株式会社モルフォの画像フレーム補間機能です。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright© 2006-2009, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」「今日は何の日」「今日の歴史」は、学研編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

English

Quick Manual

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website. Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Part names

❶ Earpiece
❷ Display
❸ Microphone
❹ MENU MENU key
❺ i-mode/i-αppli/Character key
❻ CLR ch/Clear key
Display i-Channel or return to the previous screen.
❼ Start a voice call key
❽ 0 - 9 Keypads
❾ * /Public mode (Drive mode) key
❿ i-Widget/TV key
⓫ Light sensor (Sense ambient luminance to automatically adjust brightness of the display)
⓬ Multi-cursor key (Move the cursor or operate menu item)
: Perform an operation.
: Display Scheduler, or adjust volume.
: Display Phonebook, or adjust volume.
: Display Received calls.
: Display Redial.
⓭ Camera key
⓮ Mail key
⓯ Power/End key
⓰ # /Silent mode key
⓱ MULTI Multitask key (Activate/perform another function.)
⓲ Search key (Activate quick search.)
⓳ 1Seg antenna (Built-in)
⓴ Light
㉑ Sub-display
㉒ Call light/Mail light
㉓ FOMA antenna (Built-in)
㉔ Camera
㉕ Fingerprint sensor (Authenticate fingerprints.)
㉖ Speaker
㉗ mark (Osaifu-keitai, iC communication, etc)
㉘ Light/Infrared data port
㉙ Back cover
* To access the microSD card slot, remove the back cover, open the inner cover, and then remove the battery pack.
㉚ Back cover lever
To maintain waterproofness, lock the cover before using.
㉛ Charging jack
㉜ External connection jack
To connect an optional AC adapter, DC adapter, FOMA USB Cable with Charge Function, Earphone Plug Adapter for External connector terminal etc.
㉝ Side keys
: Operate MUSIC Player, Music&Video Channel Player or camera.
: Stop ring alert, alarm and vibrator, or adjust the volume.
: Adjust the volume, turn on sub-display light or switch views.

Viewing display

Top of the display

(Ample)⇔ (Low) : Battery level
(Strong)⇔ (Weak)圏外 : Signal strength
: Connecting to i-mode
: Infrared communication in operation
: Power saving mode activated
: Lock on close or Security lock ON
: Unread i-mode mail exists
: Arrival i-concier information exists
: Unreceived i-mode mail exists in the i-mode Center
: Auto-send mail exists
: During i-αppli operation
: Alarm clock ON

Bottom of the display

2 1 1 2 2 : New arrival
: Silent mode ON
: In Public mode (Drive mode)
: Record message ON
: IC card lock ON
: microSD card is inserted
: Pedometer/ACT monitor is set
: Software update notice

Character Entry

Switching modes

Switching input modes : On the character entry screen, [あα] (several times) ▶ [●]
Switching one-/two-byte : When items are displayed, [○]

Entering/Converting (5-touch method)

The characters are inserted at the cursor position.
[1] - [0] : Change input characters by input mode and pressing keys several times
[MENU] : Change characters to Kana
[✓] : Return to the previous character
[CLR] : Cancel or delete characters (after entry fixed)
[✂] : Add voiced/semi-voiced sound, switch upper/lower case or insert a line feed (only after entry fixed).

Entering pictograms

On the character entry screen, [📷] ▶ Select pictogram

Entering smileys

On the character entry screen, [MENU] ▶ [5][3] ▶ [1] - [9] ▶ Select a smiley

Lock/Security

Changing the terminal security code

[MENU] ▶ [8][4][7][1] ▶ Authenticate ▶ Enter a new terminal security code ▶ Enter the new code in New security code-check field ▶ [📷] [Save]

Changing PIN/PIN2 code

[MENU] ▶ [8][4][6] ▶ [1] or [2] ▶ Authenticate ▶ Enter the current PIN/PIN2 code ▶ Enter a new code in New PIN/PIN2 code entry field and in New PIN/PIN2 code - check field ▶ [📷] [Save]

Registering fingerprints for authentication

[MENU] ▶ [8][4][7][2] ▶ Authenticate ▶ "OK" ▶ Slide your fingertip by following the instruction message ▶ Enter the name to register (up to 10 two-byte (20 one-byte) characters) ▶ [📷] [Save]

Activating Lock on close

[MENU] ▶ [8][4][1][1] ▶ Authenticate ▶ Set required items ▶ [📷] [Save]
To deactivate the lock temporarily, open FOMA terminal and authenticate.

Setting Security lock

[MENU] ▶ [8][4][1][2] ▶ Authenticate ▶ Set required items ▶ [📷] [Save]
To deactivate the lock temporarily, when the screen is off, press [MENU] and authenticate.

Sound/Screen Setting

Setting Call ring alert

MENU ▶ 8 1 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ Set required items ▶ [camera] [Save]

Setting Stand-by display

<Example> **Setting an image stored by default to the stand-by display**

MENU ▶ 8 2 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ 1 ▶ "Yes" ▶ 6 ▶ Select an image ▶ "Yes"

Activating/Deactivating Privacy view

MULTI (1 sec. or more)

Setting Light alert

<Example> **Setting Light alert for incoming call/ message**

MENU ▶ 8 2 5 1 ▶ Set required items ▶ [camera] [Save]

Kisekae Tool

<Example> **Setting Kisekae Tool stored by default**

MENU ▶ 8 3 1 2 ▶ Move the cursor to a Kisekae Tool ▶ [camera] [Set] ▶ "Yes"

Voice/Videophone Calls

Entering a phone number to make a call

1 Enter a phone number ▶ [call] (voice calls) or [camera] (videophone calls)
  [●] : Put a call on hold
2 When ending the call, [end]

Using Redial/Received calls to make a call

[Redial] (Redial) or [Received] (Received calls) ▶ Move the cursor to a party ▶ [call] (voice calls) or [videophone] (videophone calls)

Using phonebook to make a call

[phonebook] ▶ Move the cursor to an entry ▶ [call] (voice calls) or [videophone] (videophone calls)

Receiving a call

1 Receive
  While receiving a call, [end] : On hold
2 [call] (voice/videophone calls) or [videophone] (videophone calls)
3 When ending the call, [end]

Phonebook

Adding to FOMA terminal phonebook

[phonebook] (1 sec. or more) ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ [camera] [Save]

Adding to UIM phonebook

MENU ▶ 4 4 ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ [camera] [Save]

Editing FOMA terminal phonebook

[phonebook] ▶ Move the cursor to a phonebook entry ▶ MENU ▶ 3 1 ▶ Edit ▶ [camera] [Save]
An overwriting confirmation screen appears.

Searching FOMA terminal phonebook

MENU ▶ 4 1 ▶ 1 - 6

Mail

Creating/sending mails

1 [✉] (1 sec. or more)
2 Select [To] ▶ Select input method ▶ Enter or select the receiver
3 Select [Subject icon] ▶ Enter the subject
4 Select [Text] ▶ Enter message text
   • **Creating Deco-mail :** [✉] ▶ Select a decoration icon ▶ Decorate
5 [📷] [Send]

File attachment

On the mail creation screen, select [📎] ▶ Select a file to attach ▶ Edit a mail ▶ [📷] [Send]

Displaying a mail in the mailbox

[✉] ▶ [1] or [4] or [5] ▶ Select a folder ▶ Select a mail

Check new message (mail)

[✉] ▶ [✉] [CheckMsg]

Camera

Still camera

[📷] ▶ Point the camera at the object and [●] [Shoot] or [♬] ▶ [●] [Save] or [♬]

Movie camera

[📷] (1 sec. or more) ▶ Point the camera at the object and [●] [Shoot] or [♬] ▶ When you want to stop shooting, [●] [Stop] or [♬] ▶ [●] [Save] or [♬]

Displaying images

[MENU] ▶ [5][1][1] ▶ Select an image

Playing moving pictures

[MENU] ▶ [5][4][2] ▶ Select a moving picture

Operations while playing moving picture

[↕], [▲][▼] : Adjust volume
[↔], [▲][▼] **(1 sec. or more)** : Reverse/Fast play
[●], [♬] : Pause/Play/Play from the beginning (In stop)
[📷] : Stop

1Seg

Creating a channel list using preset (for the first-time)

[MENU] ▶ [6][9][7] ▶ "Yes" ▶ "Use preset" ▶ Select an area ▶ "Yes"

Setting a channel list

[MENU] ▶ [6][9][7] ▶ Move the cursor to Channel list ▶ [✉] [Set]

Activating 1Seg

[TV] (1 sec. or more)

Operations while watching

[✓] : Switch watching screen
[▲][▼] : Adjust volume
[Rec] **(1 sec. or more)** : Start/Stop recording video
[Rec] : Record still image
[MENU] ▶ [9] : Display key function help

Reserving watching/recording

[MENU] ▶ [6][9][4] ▶ [MENU] ▶ [1] ▶ Select a entry method and set the program ▶ [📷] [Save]

Playing a recorded program

[MENU] ▶ [5][*] ▶ Select the program saved location ▶ Select the data

Music&Video Channel/MUSIC Player

Playing Music&Video Channel

MENU ▶ 9 2 ▶ Select a program

Playing a tune with MUSIC Player

MENU ▶ 9 1 ▶ Select a folder or playlist ▶ Select music data

Operations while playing

● , ♫ : Pause/Play
◎, ▲▼ : Adjust volume
◎ **(1 sec. or more)** : Rewind/Fast forward
◎, ▲ **(1 sec. or more)** : Move to the beginning of the current chapter/tune*1
◎, ▼ **(1 sec. or more)** : Move to the next chapter/tune
♫ **(quickly twice)** : Save to Quick playlist*2
♫ **(1 sec. or more)** : Stop*2

*1 If playing time is within 3 seconds, move to the previous chapter/tune.
*2 Only valid for MUSIC Player.

Network Service

Voice Mail service

MENU ▶ 8 8 1 1 ▶ Perform the following operation

Activate : 1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter ring time
Deactivate : 3 ▶ "Yes"
Play messages : 5 ▶ 1 or 2 ▶ "Yes" ▶ Follow the guidance to operate

Call Waiting Service

MENU ▶ 8 8 2 1 ▶ 1 (Activate) or 2 (Deactivate) ▶ "Yes"

During a voice call, ✆ : Answer a voice call from the second party
iα : Switch to another party

Call Forwarding Service

MENU ▶ 8 8 2 2 ▶ Perform the next operation

Activate : 1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter a phone number ▶ 📷 [OK] ▶ "Yes" ▶ Enter ring time
Deactivate : 2 ▶ "Yes"

Other Main Functions

Function	Operating procedure
Start/Cancel Self mode	CLR (1 sec. or more)
Start/Cancel Public mode (Drive mode)	✂ (1 sec. or more)
Display iMenu	iα
Display i-αppli folder list	iα (1 sec. or more)
Display Received calls/Redial	◎ / ◎
Start/Cancel IC card lock	◎ (1 sec. or more)*
Display Scheduler	◎
Display alarm list	◎ (1 sec. or more)
Start/Cancel Silent mode	# (1 sec. or more)
Start i-Widget	wTV
Start quick search	⌕
New Task start menu	MULTI

* Authentication is required to cancel.

Services available

Service	Phone No.
Directory assistance service (charged : service + call) (Not provided for those who do not require the service)	104 (no area code)
Sending telegrams (charged : telegram)	115 (no area code)
Time (charged)	117 (no area code)
Weather (charged)	Area code + 177
Police emergencies	110 (no area code)
Fire and ambulance	119 (no area code)
Marine emergencies and accident reports	118 (no area code)
Disaster recorded message service (charged)	171 (no area code)
Collect call (charged : service + call)	106 (no area code)

Overseas use

Refer to "Mobile Phone User's Guide [International Services]", "Mobile Phone User's Guide [Network Services]", DOCOMO International Services website and "海外ご利用ガイド (Overseas usage guide)" preinstalled in My Document of Data Box.

Making a call/videophone call

- When making a call to WORLD WING user, the call is forwarded internationally from Japan even when staying in the same country. Enter "+" and Japans country code "81".

International call (including to Japan) : [0] (1 sec. or more) ▶ Country code ▶ Enter a phone number without the leading "0" of the area code (City code) ▶ [call] (voice calls) or [camera] (videophone calls)

Call inside the country you stay : Enter a phone number ▶ [call] (voice calls) or [camera] (videophone calls) ▶ "No, use original"

Receiving a call/videophone call

A call is received ▶ [call] (voice calls) or [i-α] (videophone calls)

Setting after returned to Japan

When FOMA terminal is turned ON after returning to Japan but the terminal is not automatically connected to FOMA network, set network search mode to "Auto", and 3G/GSM setting to "AUTO".

Inquiries

Please check on the number before dialing.

General Inquiries <docomo Information Center>

<In English>
0120-005-250 (toll free)
* Available from land-line phones, mobile phones and PHSs.

<In Japanese only>
0120-800-000 (toll free)
No prefix 151 (toll free)
* Available only from mobile phones and PHSs.

Repairs

<In Japanese only>
No prefix 113 (toll free)
* Available only from mobile phones and PHSs.

0120-800-000 (toll free)
* Available from land-line phones, mobile phones and PHSs.

Omakase Lock

* If you are a docomo Premier Club member, the service is available any number of times with no commission. If you are not a member, the charge for the service occurs (however, you are not charged if you subscribe to this service at the same time as service interruption or during interruption.). Also, if you subscribe to Keitai Anshin Pack, the service is available within the fixed charge of Keitai Anshin Pack.

Setting/Canceling Omakase Lock (24 hours)

0120-524-360

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas

<docomo Information Center>

(24 hours)

● From DOCOMO mobile phone

International call access code for the country you stay **-81-3-5366-3114*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-01B, you should dial the number +81-3-5366-3114. (Press [0] for 1 sec. or more to enter "+".)

● From land-line phone <Universal number>

International prefix number for the universal number **-800-0120-0151***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ international prefix numbers for the universal number, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas

<Network Operation Center>

(24 hours)

● From DOCOMO mobile phone

International call access code for the country you stay **-81-3-6718-1414*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-01B, you should dial the number +81-3-6718-1414. (Press [0] for 1 sec. or more to enter "+".)

● From land-line phone <Universal number>

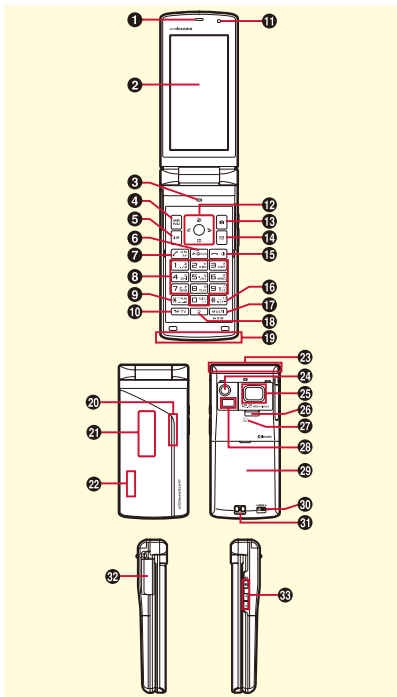
International prefix number for the universal number **-800-5931-8600***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ international prefix numbers for the universal number, refer to DOCOMO International Services website.

中文

简易手册

各部分的名称

❶ 听筒
❷ 显示屏
❸ 话筒 / 麦克风
❹ MENU 菜单键
❺ i-mode / i-αppli / 文字键
❻ CLR ch / 清空键
进行恢复为显示i-Channel与返回前一界面的操作。
❼ 语音电话开启键
❽ 0 ～ 9 拨号键
❾ * / 公共模式 (驾驶模式)键
❿ i-Widget / TV键
⓫ 光线传感器 （感知周围的光线强度，自动调整界面亮度）
⓬ 多向光标键 （光标移动与menu操作）
: 执行操作
: 显示日程表与调整音量
: 显示电话簿与调整音量
: 显示来电记录
: 显示重拨
⓭ 拍摄键
⓮ Mail键
⓯ 电源 / 关机键
⓰ # / 静音模式键
⓱ MULTI 任务选择键 （启动 / 执行其他的功能）
⓲ 查找键 （启动快速检索功能）
⓳ 1seg天线部 （内置于主机内）
⓴ 指示灯
㉑ 外置显示屏
㉒ 通话指示灯 / Mail指示灯
㉓ FOMA天线部 （内置于主机内）
㉔ 相机
㉕ 指纹扫描器 （根据指纹进行身份认证操作）
㉖ 扬声器
㉗ 标记 （Osaifu-Keitai与iC通信）
㉘ 闪光灯 / 红外线端口
㉙ 后盖板
※拆下后盖板并打开内盖，取下电池包，即可看见microSD卡插槽。
㉚ 后盖板的卡扣
请在该卡扣锁定状态下使用手机，以维持防水性能。
㉛ 充电口
㉜ 外部连接口
连接用户另购的AC适配器、 DC适配器、FOMA带充电功能的USB连接线、外部连接口用耳机转换适配器等。
㉝ 侧面按键
: 操作音乐播放器与Music&Video Channel播放器、相机拍摄
: 来电铃声、报警声、来电振动的关闭与音量调整
: 音量调整与点亮外置显示屏、切换显示模式

显示屏说明

显示屏上部

（多）⇔（少）：剩余电量
（强）⇔（弱）、**圏外**：信号强度
：i-mode连接中
：红外线通信中
：省电模式设定中
：开关机锁或界面解锁中
：有未读i-mode邮件
：有新到的i-concier信息
：i-mode中心有未接收的邮件
：有网内自动发送邮件
：i-αppli 运行中
：闹钟设定中

显示屏下部

：新到信息
：静音模式中
：公共模式（驾驶模式）中
：留言记录设定中
：IC卡锁定中
：插有microSD卡
：记步器设定中
：软件更新预报

文字输入

设为中文输入模式

MENU ▶ 8 7 2 6 ▶ 1

模式切换

切换输入模式：在文字输入画面 iα （数次）▶ ●

切换全角／半角、拼音／笔画输入：切换项目显示中

文字输入与转换

文字将插入到光标的位置。

1～0：在不同输入模式和按键操作下，输入文字因读音或笔画（T9输入）、按下的次数（假名输入）等而变化

MENU：转换为片假名、英文、数字（假名输入）

：返回到前一个字（假名输入）

CLR：取消文字、删除文字（确定输入后）

：添加浊音符号或半浊音符号（假名输入）、切换大写／小写（假名输入）、换行（确定输入后）

输入图形文字

在文字输入画面 📷 ▶ 选择图形文字

输入表情符号

在文字输入界面选择 MENU ▶ 5 3 ▶ 1～9 ▶ 表情符号

锁定／安全

更改手机密码

MENU ▶ 8 4 7 1 ▶ 认证操作 ▶ 输入新的手机密码 ▶ 在新密码（确认）栏中输入新的手机密码 ▶ 📷［Save］

更改PIN1码／PIN2码

MENU ▶ 8 4 6 ▶ 1 or 2 ▶ 认证操作 ▶ 输入当前的PIN码 ▶ 在新PIN码栏与新PIN码（确认）栏中输入新的PIN码 ▶ 📷［Save］

注册身份认证用指纹

MENU ▶ 8 4 7 2 ▶ 认证操作 ▶ "OK" ▶ 根据提示将手指划过指纹扫描器 ▶ 输入注册名称（全角10（半角20）个字符以内）▶ 📷［Save］

启动开关机锁

MENU ▶ 8 4 1 1 ▶ 认证操作 ▶ 设定各项目 ▶ 📷［Save］

如要暂时解除锁定，则打开FOMA手机，进行认证操作。

界面解锁的设定

MENU ▶ 8 4 1 2 ▶ 认证操作 ▶ 设定各项目 ▶ 📷［Save］

如要暂时解除锁定，则在界面已解锁状态下按下MENU，进行认证操作。

声音 / 界面设定

来电铃声的设定

MENU ▶ 8 1 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ 设定各项目 ▶ 📷 [Save]

待机画面设定

〈例〉将购买时已存入手机的图片设定为待机画面
MENU ▶ 8 2 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ 1 ▶ "Yes" ▶ 6 ▶ 选择图像 ▶ "Yes"

主人信息查看功能的启动 / 解除

MULTI (1秒以上)

提示灯光设定

〈例〉设定来电时的提示灯光
MENU ▶ 8 2 5 1 ▶ 设定各项目 ▶ 📷 [Save]

Kisekae Tool

〈例〉设定或更改购买时已注册的Kisekae Tool
MENU ▶ 8 3 1 2 ▶ 将光标移至Kisekae Tool ▶ 📷 [Set] ▶ "Yes"

电话 / 可视电话

输入电话号码的方法

1 输入电话号码 ▶ ✆ (语音电话) or 📷 (可视电话)
●: 通话保持
2 若通话结束 ⌒

利用重拨 / 来电记录功能的方法

◎ (重拨) or ◎ (来电记录) ▶ 把光标移到对象处 ▶ ✆ (语音电话) or i✆ (可视电话)

利用电话簿功能的方法

◎ ▶ 把光标移到对象处 ▶ ✆ (语音电话) or i✆ (可视电话)

电话的接听方法

1 有呼入电话
呼入状态下 ⌒: 接听保持
2 ✆ (语音电话 / 可视电话) or i✆ (可视电话)
3 若通话结束 ⌒

电话簿

登录到FOMA手机电话簿

◎ (1秒以上) ▶ 输入姓名 ▶ 设定各项目 ▶ 📷 [Save]

登录到UIM电话簿

MENU ▶ 4 4 ▶ 输入姓名 ▶ 设定各项目 ▶ 📷 [Save]

更改FOMA手机电话簿

◎ ▶ 把光标移到电话簿 ▶ MENU ▶ 3 1 ▶ 更改 ▶ 📷 [Save]
将显示更新确认画面

搜索FOMA手机电话簿

MENU ▶ 4 1 ▶ 1～6

邮件

制作、发送

1 [✉]（1秒以上）
2 选择[To] ▶ 选择输入方式 ▶ 输入或选择收件人
3 选择[件名] ▶ 输入主题名称
4 选择[Text] ▶ 输入正文
• 制作Deco-mail®：[✉] ▶ 选择装饰图标 ▶ 装饰操作
5 [📷][Send]

添加文件

在邮件制作画面选择[📎] ▶ 选择附加文件 ▶ 编辑邮件 ▶ [📷][Send]

显示数据库内邮件

[✉] ▶ [1] or [4] or [5] ▶ 选择文件夹 ▶ 选择邮件

i-mode咨询

[✉] ▶ [✉][CheckMsg]

相机

拍摄静止影像

[📷] ▶ 将相机对准被摄对象[●][Shoot] or [♬] ▶ [●][Save] or [♬]

拍摄动画

[📷]（1秒以上）▶ 将相机对准被摄对象[●][Shoot] or [♬] ▶ 结束摄影时[●][Stop] or [♬] ▶ [●][Save] or [♬]

显示图像

[MENU] ▶ [5][1][1] ▶ 选择图像

播放动画

[MENU] ▶ [5][4][2] ▶ 选择动画

播放动画过程中可进行的操作

[▲▼]、[▲][▼]：调节音量
[◀▶]、[▲][▼]（1秒以上）：倒退／快进播放
[●]、[♬]：暂停／播放／从头播放（停止状态下）
[📷]：停止

1Seg

通过预设新建频道列表（未新建时）

[MENU] ▶ [6][9][7] ▶ "Yes" ▶ "Use preset" ▶ 选择地区 ▶ "Yes"

频道列表的设定

[MENU] ▶ [6][9][7] ▶ 将光标移至频道列表 ▶ [✉][Set]

1Seg启动

[TV]（1秒以上）

视听时的操作

[✓]：切换视听画面
[▲][▼]：调节音量
[iα]（1秒以上）：开始／停止摄像
[iα]：静止影像摄像
[MENU] ▶ [9]：显示按键操作一览表

视听、摄录预约

[MENU] ▶ [6][9][4] ▶ [MENU] ▶ [1] ▶ 选择输入方式并设定预约内容 ▶ [📷][Save]

播放录制的节目

[MENU] ▶ [5][*] ▶ 选择保存场所 ▶ 选择所要播放的节目

Music&Video Channel / 音乐播放器

播放Music&Video Channel

MENU ▶ 9 2 ▶ 选择节目

运行音乐播放器

MENU ▶ 9 1 ▶ 选择文件夹或播放列表 ▶ 选择音乐文件

播放中可进行的操作

●、♫：暂停 / 继续播放
◎、▲▼：调节音量
◎（1秒以上）：倒退 / 快进
◎、▲（1秒以上）：转到章 / 曲的开头※1
◎、▼（1秒以上）：转到下一章 / 曲
♫（快按2次）：登录到快播列表※2
♫（1秒以上）：结束※2

※1 播放时间在3秒以内时，转到前一章 / 曲
※2 仅音乐播放器有效

网络服务

语音信箱服务

MENU ▶ 8 8 1 1 ▶ 进行下一项操作
开启：1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ 输入呼叫时间
停止：3 ▶ "Yes"
播放：5 ▶ 1 or 2 ▶ "Yes" ▶ 根据提示进行操作

来电等待

MENU ▶ 8 8 2 1 ▶ 1（开启）or 2（停止）▶ "Yes"
语音通话中 ✆：接听别的语音来电
iα：切换通话对象

呼叫转移服务

MENU ▶ 8 8 2 2 ▶ 进行下一项操作
开启：1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ 输入电话号码 ▶ 📷 [OK] ▶ "Yes" ▶ 输入呼叫时间
停止：2 ▶ "Yes"

其他主要操作

功　能	操作方法
启动 / 解除屏蔽模式	CLR（1秒以上）
启动 / 解除公共模式(驾驶模式)	✱（1秒以上）
显示iMenu	iα
显示i-αppli文件夹列表	iα（1秒以上）
显示来电记录 / 重拨	◎ / ◎
启动 / 解除IC卡锁定	◎（1秒以上）※
显示日程表	◎
显示闹钟列表	◎（1秒以上）
启动 / 解除静音模式	#（1秒以上）
启动i-Widget	･ｗTV
启动快速搜索	🔍
新建启动Menu	MULTI

※ 解除时需要进行认证操作。

可利用的服务

可利用的服务	电话号码
号码指南服务（收费：指南费+通话费）（对不需要电话号码指南的用户不提供指南服务）	（无区号）104
发送电报（收费：电报费）	（无区号）115
报时服务（收费）	（无区号）117
天气预报（收费）	想了解地域的市外区号+177
向警察的紧急通报	（无区号）110
向消防、救护的紧急通报	（无区号）119
在海上发生紧急事件、事故时的紧急通报	（无区号）118
灾害用留言电话（收费）	（无区号）171
对方付费电话（收费：指南费+通话费）	（无区号）106

海外使用

请一并阅读《Mobile Phone User's Guide [International Services]（使用指南手册（国际服务篇））》、《Mobile Phone User's Guide [Network Services]（使用指南手册（网络服务篇））》、DOCOMO的“国际服务主页”、数据库中的“海外ご利用ガイド”（海外使用指南）。

电话／可视电话的拨打方法

- 由于拨打WORLD WING用户电话、是从日本进行国际转接，即便对方与您滞留在同一个国家，也请输入“+”和日本的国家区号“81”。

往滞留国家的国外（包话日本）拨打电话：
 [0]（1秒以上）▶输入国家区号▶除地域区号（市外区号）开头的“0”之外的其余电话号码▶[✓]（语音电话）or [📷]（可视电话）

往滞留国家的国内拨打电话：输入电话号码
 ▶[✓]（语音电话）or [📷]（可视电话）
 ▶“No, use original”

电话／可视电话的接听方法

有呼入电话▶[✓]（语音电话）or [iα]（可视电话）

回国后的设定

如回国后打开电源仍无法自动连接到FOMA网络，请重新将查找网络设定设为“Auto”，将3G/GSM切换设为“AUTO”。

咨询处

请仔细确认要拨打的号码后，准确无误地拨打。

综合咨询处〈docomo信息中心〉

0120-005-250（免费）
※可使用语言：英语、葡萄牙语、中文、西班牙语、韩语。
※可通过普通电话、手机、PHS拨打。

<仅日语>
0120-800-000（免费）
无区号 151（免费）
※不能通过普通电话等拨打。

故障咨询处

<仅日语>
无区号 113（免费）
※不能通过普通电话等拨打。

0120-800-000（免费）
※可通过普通电话、手机、PHS拨打。

Omakase Lock

※Omakase Look（安心锁）为收费服务。若在暂停使用的同时，或者在暂停状态下申请时，又或者是docomo Premier Club（docomo高级俱乐部）的会员时，则为免费。此外，如果签订了Keitai Anshin Pack（手机放心套餐）协议，即可在Keitai Anshin Pack（手机放心套餐）固定费用限定内使用。

Omakase Lock的设定／解除（24小时受理）
0120-524-360

关于在海外发生的遗失、失窃、结算等

〈docomo信息中心〉

（24小时受理）

●使用DOCOMO手机拨打时

滞留国家的国际电话连接号码	-81-3-5366-3114*（免费）

* 使用普通电话等拨打时，收取打往日本的通话费。

※利用F-01B拨打时，通过+81-3-5366-3114连接（“+”符号按[0]1秒以上）。

●使用普通电话等拨打时〈全球号码〉

全球号码用国际电话识别号码	-800-0120-0151*

* 有时要收取滞留国家的国内通话费等。

※有关主要国家的国际电话连接号码／全球号码用国际电话识别号码，请浏览DOCOMO的“国际服务主页”。

关于在海外发生的故障

〈网络运营中心〉

（24小时受理）

●使用DOCOMO手机拨打时

滞留国家的国际电话连接号码	-81-3-6718-1414*（免费）

* 使用普通电话等拨打时，收取打往日本的通话费。

※利用F-01B拨打时，通过+81-3-6718-1414连接（“+”符号按[0]1秒以上）。

●使用普通电话等拨打时〈全球号码〉

全球号码用国际电话识别号码	-800-5931-8600*

* 有时要收取滞留国家的国内通话费等。

※有关主要国家的国际电话连接号码／全球号码用国际电话识别号码，请浏览DOCOMO的“国际服务主页”。

索引

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　iMenu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーも一緒に携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

・航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

・運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
　ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-5366-3114*** （無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Bからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** （無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Bからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

2009.11（1.2版）
CA92002-5680

F-01B
パソコン接続マニュアル

■パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、F-01Bでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

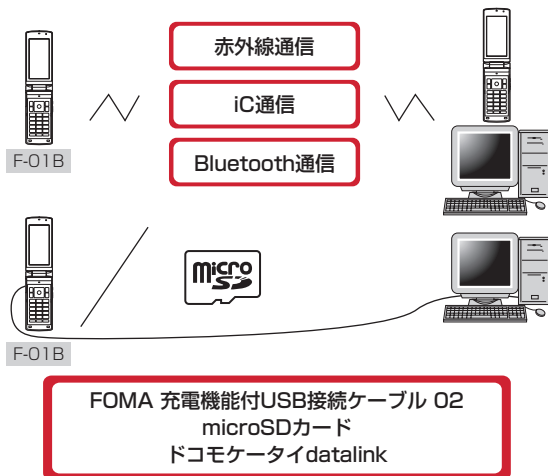
2009.11（1版）
CA92002-5684

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信は利用できません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMA ハイスピードエリア外や HIGH-SPEED に対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarion ⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。
※ Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0＋EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上　Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量 ※ ドコモ コネクションマネージャは35MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSをアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降（Windows XPの場合は、Microsoft Internet Explorer6.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① Windows Vistaのとき：(スタート) →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows XP、Windows 2000のとき：「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して「OK」をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：¥index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によるもので、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
  ※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-01B用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※ Bluetooth接続の場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02またはFOMA USB接続ケーブルは必要ありません。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

● DoPaのアクセスポイントには接続できません。

● moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
http://www.mopera.net/mopera/index.html

ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、FirstPass PCソフトを利用します。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
サービス詳細：http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/firstpass/
ダウンロード：http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/utility/firstpass/index.html

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0＋EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- 「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要です。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

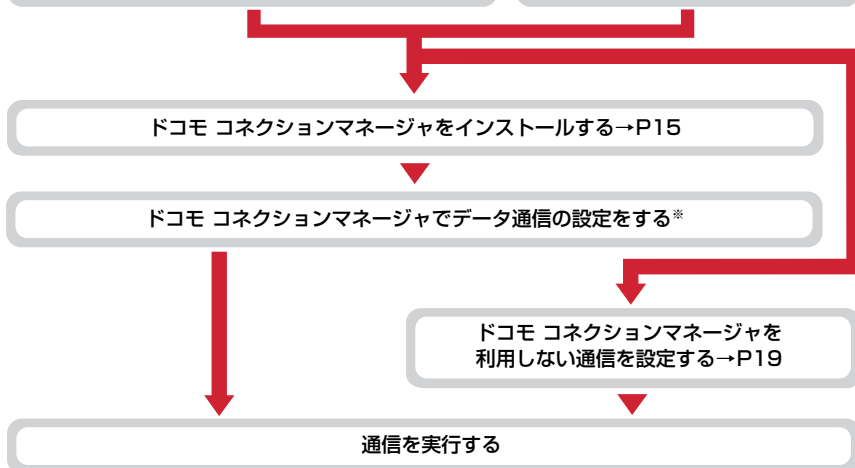
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

パソコンとUSBケーブル接続またはBluetooth接続をして、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

Bluetooth接続を利用する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

● 詳しくは、「Bluetooth接続を準備する」をご覧ください。→P11

ドコモ コネクションマネージャ

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。

※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
　例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

- FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

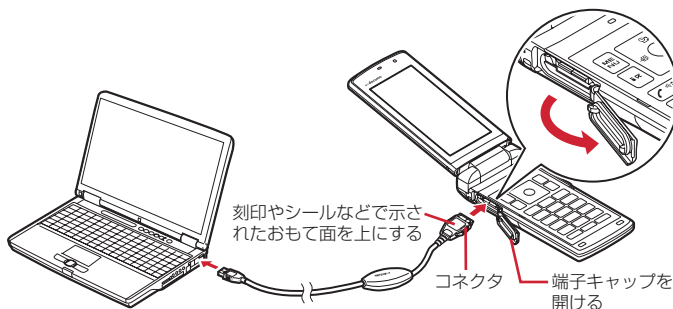
パソコンとFOMA端末を接続する

ここでは取り付け／取り外し方法を説明します。FOMA通信設定ファイルのインストールは行いません。**→P7**

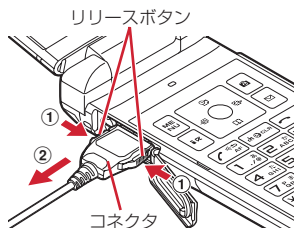
- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されますが、「キャンセル」をクリックして終了してください。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）での場合を例に説明しています。

USBケーブルを取り付ける

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面に が表示されます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。
インストール方法には、付属のCD-ROMのメニュー画面を利用する方法と、CD-ROM内のフォルダを指定して手動でインストールする方法があります。

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6
- Bluetooth接続の場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは必要ありません。

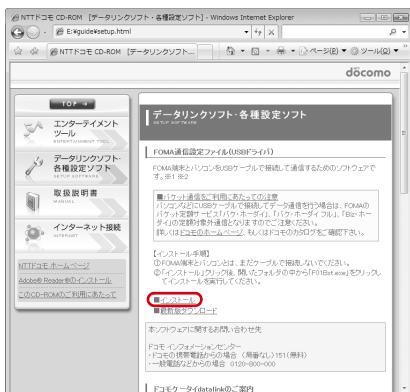
CD-ROMのメニューからインストールする

- 操作5でFOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されるまで、FOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリック

3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」をクリックし、表示されるウィンドウから「F01Bst.exe」アイコンをダブルクリック

4 「インストール開始」をクリック

5 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

6 インストール完了画面で「OK」をクリック

「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール→P15

手動でインストールする

Windows Vistaの場合

1 CD-ROMをパソコンにセット

「F-01B CD-ROM」メニューが表示されます。手動でインストールする場合は本メニュー画面を閉じます。

- CD-ROMメニューから操作を進める→P7「CD-ROMメニューからインストールする」操作2

2 FOMA端末をパソコンに接続

- 電源が入った状態で接続してください。
- 「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されます。「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」をクリックします（お使いのパソコンによっては表示されない場合があります）。

3 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリック

4 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」をクリック

5 「参照」をクリック→「<CD-ROMドライブ名>:¥F01B_USB_Driver¥WinVista32」を選択し「OK」をクリック→「次へ」をクリック

インストールが開始されます。

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンにより異なります。
- お使いのパソコンのOSがWindows Vista 64ビット版の場合は、「WinVista64」を選択します。

6 正常にインストールされた旨の画面が表示されたら、「閉じる」をクリック

7 再度「新しいハードウェアの検出」画面が表示されるので、続けて操作3以降の操作を繰り返し、FOMA通信設定ファイルをすべてインストールする

「デバイスを使用する準備ができました。」というポップアップメッセージがタスクバーに表示されると、FOMA通信設定ファイルのインストールが完了します。

- インストールを繰り返す回数は、お使いのパソコンの環境により異なります。

Windows XPの場合

1 CD-ROMをパソコンにセット

「F-01B CD-ROM」メニューが表示されます。手動でインストールする場合は本メニュー画面を閉じます。

- CD-ROMメニューから操作を進める→P7「CD-ROMメニューからインストールする」操作2

2 FOMA端末をパソコンに接続

- 電源が入った状態で接続してください。
- 新しいハードウェアの検索ウィザードが起動します。このとき、Windows Updateに接続するかの確認画面が表示された場合は「いいえ、今回は接続しません」を選択して「次へ」をクリックします（お使いのパソコンによっては表示されない場合があります）。

3 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、「次へ」をクリック

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択→「次の場所を含める」を選択→「参照」をクリックして「<CD-ROMドライブ名>:¥F01B_USB_Driver¥Win2k_XP」を選択し「OK」をクリック→「次へ」をクリック

インストールが開始されます。

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンにより異なります。

5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリック

6 再度新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されるので、続けて操作3以降の操作を繰り返し、FOMA通信設定ファイルをすべてインストールする

「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージがタスクバーに表示されると、FOMA通信設定ファイルのインストールが完了します。

- インストールを繰り返す回数は、お使いのパソコンの環境により異なります。

Windows 2000の場合

1 CD-ROMをパソコンにセット

「F-01B CD-ROM」メニューが表示されます。手動でインストールする場合は本メニュー画面を閉じます。

- CD-ROMメニューから操作を進める→P7「CD-ROMメニューからインストールする」操作2

2 FOMA端末をパソコンに接続

- 電源が入った状態で接続してください。

3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

4 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択→「次へ」をクリック

5 「場所を指定」を選択→「次へ」をクリック

6 「参照」をクリック→「<CD-ROMドライブ名>:¥F01B_USB_Driver¥Win2k_XP」を選択し、ファイル指定画面でいずれかのファイルを選択して「開く」をクリック→「OK」をクリック

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンにより異なります。

7 ドライバ名が「FOMA F01B」と表示されていることを確認し「次へ」をクリック

インストールが開始されます。

8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリック

9 再度「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されるので、続けて操作3以降の操作を繰り返し、FOMA通信設定ファイルをすべてインストールする

FOMA通信設定ファイルのインストールが完了します。

- インストールを繰り返す回数は、お使いのパソコンの環境により異なります。

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows Vistaで確認するとき

1 (スタート)→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

■ Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック

②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

■ Windows 2000のとき

①「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「システム」アイコンをダブルクリック

②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F01B Command Port（COMx）※
    FOMA F01B OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F01B
  - ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F01B

※ xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

■ Windows XPのとき
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

■ Windows 2000のとき
「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリック

2 「FOMA F01B USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XP、Windows 2000の場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F01B Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 「ドライバを削除しました」画面が表示されたら「OK」をクリック

お知らせ

- 削除画面で「FOMA F01B USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P7

ダイヤルアップ通信サービス

Bluetooth®接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

- パソコンの操作方法については、ご使用になるパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末がBluetooth接続待機状態になると待受画面に（青）が表示されます。FOMA端末とパソコン間のBluetooth接続中は（青）が、接続が成功すると（青）が点滅します。

FOMA端末にパソコンを登録する

初めてBluetooth接続する場合は、FOMA端末にパソコンを登録する必要があります。

- パソコンを登録するには、Bluetoothパスキーの入力が必要です。あらかじめ、半角英数字4～16桁でBluetoothパスキーを決めておいてください。

1 FOMA端末で MENU 6 ✂ 5

ダイヤルアップ登録待受中になります。
- 5分経過しても接続がない場合は、自動的に中止されます。

2 パソコンでFOMA端末の検索と機器登録をする

- FOMA端末がダイヤルアップ登録待受中に行います。
- パソコンの取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、また「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されている場合があります。

3 FOMA端末に接続確認画面が表示されたら「はい」を選択

4 FOMA端末でBluetoothパスキーを入力して● [確定]

- FOMA端末とパソコンで同じBluetoothパスキーを入力します。

FOMA端末にパソコンが機器登録され、登録が完了するとダイヤルアップ登録待受中に戻り、接続待機状態になります。

5 パソコンで接続の操作をする

お知らせ

- ダイヤルアップ登録待受中は、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービスの接続待機はできません。
- パソコンにFOMA端末を登録する場合、パソコンが複数の機器を検索したときは、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索したときは、機器アドレスで判別してください。

登録済みのパソコンと接続する

FOMA端末に登録済みのパソコンとBluetooth接続する場合は、FOMA端末を接続待機状態にします。

1 FOMA端末で MENU 6 ✱ 4 → 1

2 「ダイヤルアップ（DUN）」を選択→ 📷 [待機開始]

ダイヤルアップ接続待機状態になり、待受画面に戻ります。

3 パソコンで接続の操作をする

モデムの確認をする

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。パソコンでご使用になるモデムのモデム名や、ダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。

〈例〉Windows Vistaで確認するとき

1 (スタート) →「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

■ Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック

②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

■ Windows 2000のとき

①「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「システム」アイコンをダブルクリック

②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→モデム名またはCOMポート番号を確認

• 「モデム」、「ポート（COMとLPT）」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されます。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

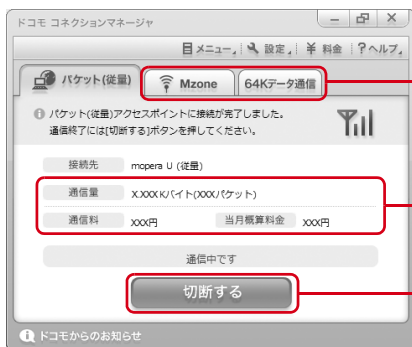
1 FOMA端末で MENU 6 ✂ 2

2 登録機器リストから接続待機中のパソコンを選択→ 2

3 「ダイヤルアップ（DUN）」を選択→ 📷 ［停止］

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ドコモ コネクションマネージャは、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uへのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
ここでは、ドコモ コネクションマネージャのインストールまでを説明します。

● FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

■ 従量制データ通信（iモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について

• パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、Biz・ホーダイの定額対象外通信となりますのでご注意ください。

■ 定額データプランのご利用について

• 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■ moperaのご利用について

• moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

- FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください（Bluetooth接続の場合は、USBケーブルは必要ありません）。
- サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
- ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P15「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

Internet Explorerの設定を変更する

- ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

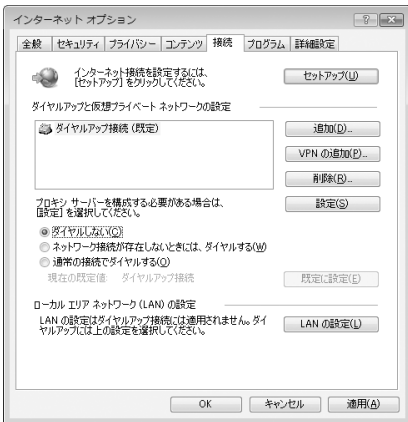
〈例〉Windows Vistaで変更するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows2000の場合は「プログラム」）を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック

3 「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択

4 「OK」をクリック

ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

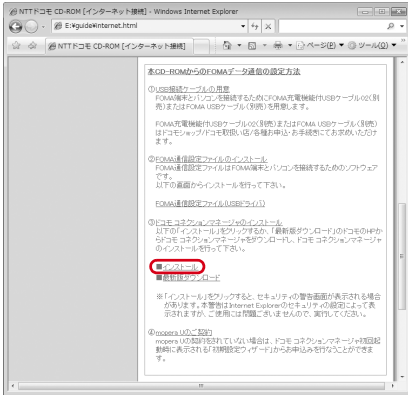
- FOMA通信設定ファイルのインストール完了時に、ドコモ コネクションマネージャをインストールするための画面が表示された場合は、「OK」をクリックして操作4から始めます。
- 既にFOMA通信設定ファイルがインストールされている場合、またはBluetooth接続のみでデータ通信を行う場合は、操作1から始めます。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

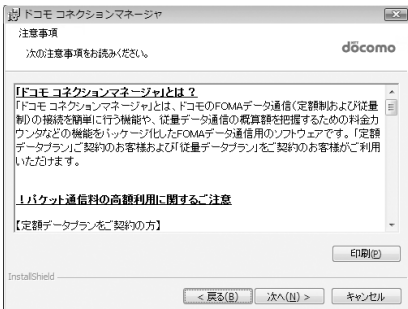
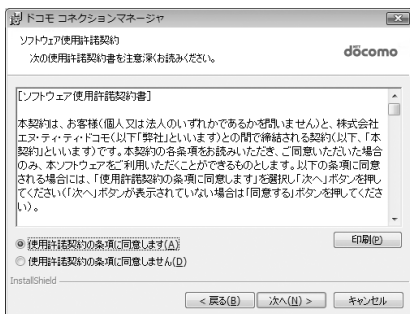
1 CD-ROMをパソコンにセット

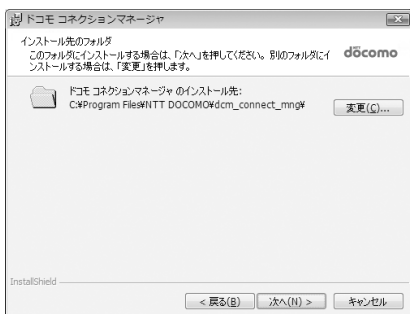
2 「インターネット接続」をクリック

3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作③にある「インストール」をクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

- Windows XPでMSXML6･Wireless LAN APIのインストールの確認画面が表示された場合は「Install」をクリックし、MSXML6･Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6･Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールが始まります。

4 「次へ」をクリック

5 注意事項を確認して「次へ」をクリック

6 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック

7 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

- インストール先を変更する場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定してください。

8 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

9 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

● 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

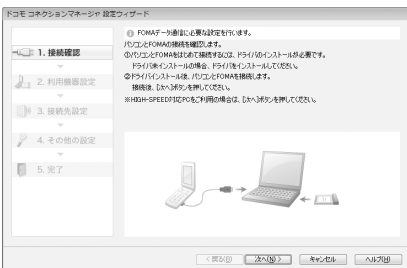
〈例〉Windows Vistaで設定するとき

1 (スタート) →「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック

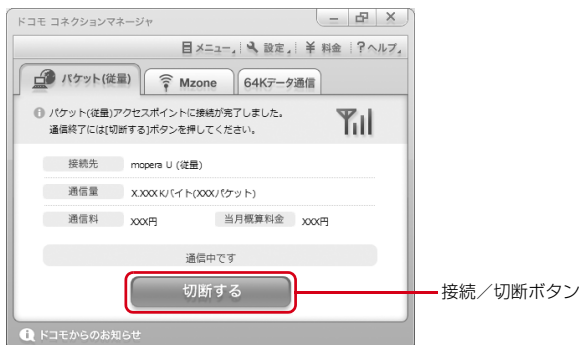
■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して→「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。

初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

- 設定ウィザードに従い、インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
  設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
  詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

- パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、ドコモ コネクションマネージャを利用して設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

- データ通信の準備の流れ→P5
- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

接続先（APN）を設定する※→P20
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P21
- 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする
- Windows Vistaで設定する場合→P22
- Windows XPで設定する場合→P24
- Windows 2000で設定する場合→P27

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- USBケーブル接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先（APN）を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSBケーブル接続とBluetooth接続を切り替える場合は、再度接続先（APN）を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

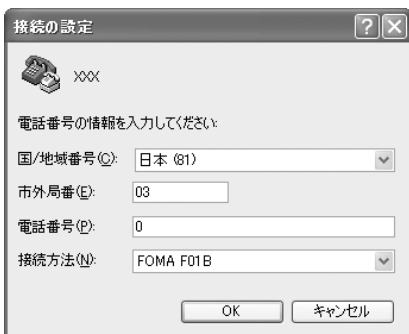
接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

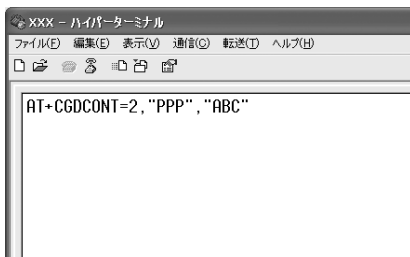
- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

3 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」を選択→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」は次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「FOMA F01B」を選択
  Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」を選択

4 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

5 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力→ ↵

＜cid＞　　　　：2または4～10の範囲で任意の番号
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞　　　：接続先（APN）

AT+CGDCONT=2,"PPP","ABC"

- +CGDCONTコマンド→P39「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵ を押します。

6 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

7 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

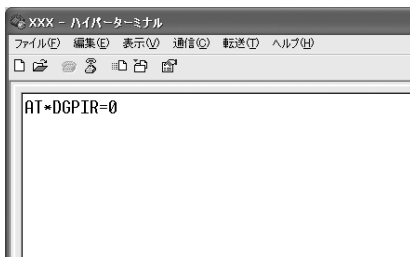
発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「接続先（APN）の設定」の操作1～4を実行

2 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力→ ↵

＜n＞：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵ を押します。

3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

ダイヤルアップネットワークを設定する

Windows Vistaで設定する

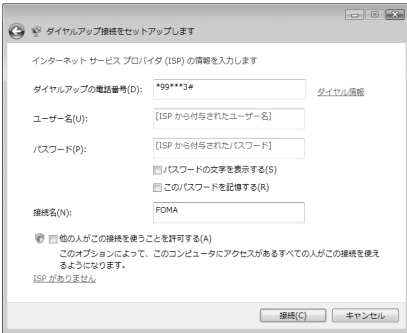
1 （スタート）→「接続先」を順にクリック

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき
USBケーブル接続の場合：「FOMA F01B」をクリック
Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」をクリック

4 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

<cid>：P20「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合､「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>｜

5 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

6 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

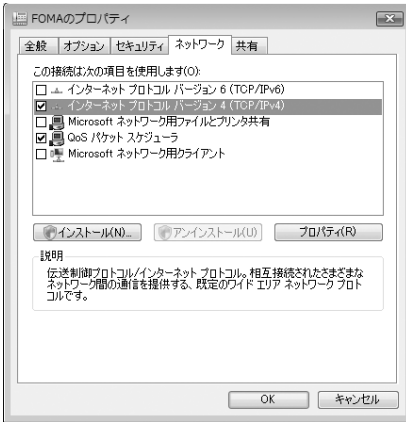
7 「閉じる」をクリック

8 （スタート）→「接続先」を順にクリック

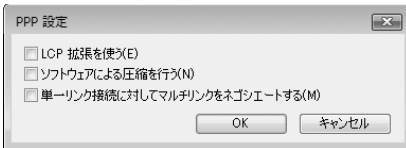
9 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

10 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続の方法」で「モデム-FOMA F01B」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続の方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

11 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。

12 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

13 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

14 「OK」をクリック

通信を実行する→P30

Windows XPで設定する

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「新しい接続ウィザード」をクリック

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

3 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき

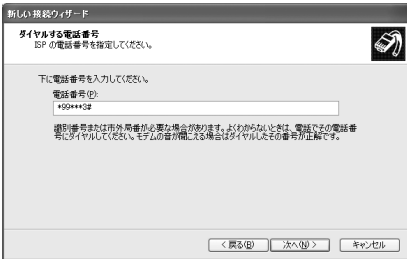
USBケーブル接続の場合：「モデム-FOMA F01B」を選択して「次へ」をクリック

Bluetooth接続の場合：「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択して「次へ」をクリック

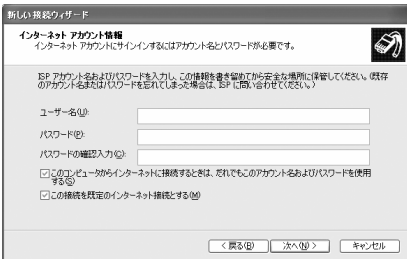
6 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
¥/:＊?<>|”

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

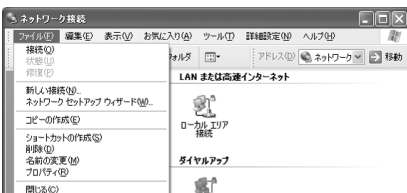
<cid>：P20「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

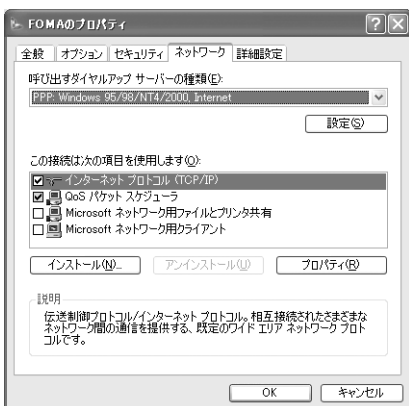
8 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

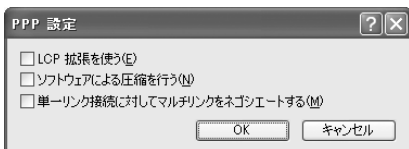
9 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

10 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

11 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

12 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続方法」で「モデム-FOMA F01B」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

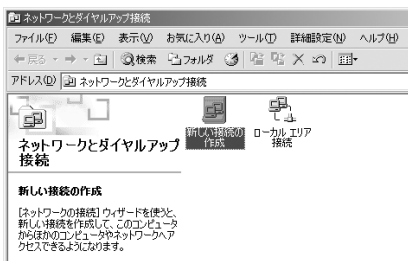
13 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。

14 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

15 「OK」をクリック

通信を実行する→P30

Windows 2000で設定する

1 「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック

2 「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリック

■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→「OK」をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で「OK」をクリック

3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して「次へ」をクリック

5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して「次へ」をクリック

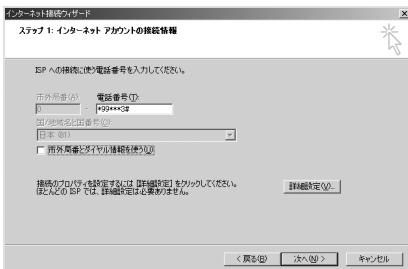
6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して「次へ」をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「FOMA F01B」を選択して「次へ」をクリック

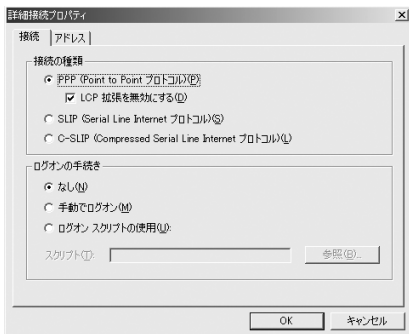
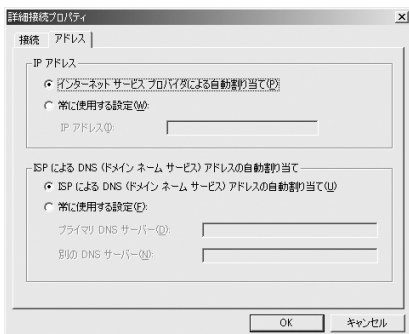
Bluetooth接続の場合：「（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択して「次へ」をクリック

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「詳細設定」をクリック

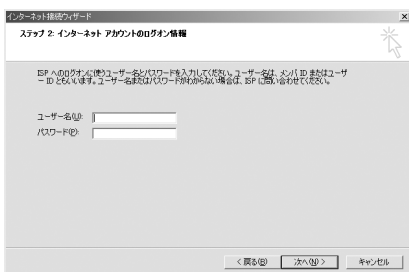
<cid>：P20「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

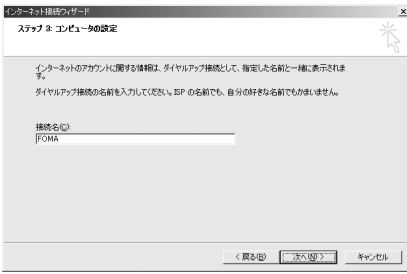
接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

8 「接続」タブの各項目を画面例のように設定

9 「アドレス」タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

10 「OK」をクリック→「次へ」をクリック

11 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。「次へ」をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

12 「接続名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「接続名」の先頭に.(半角文字のピリオド)は使用できません。

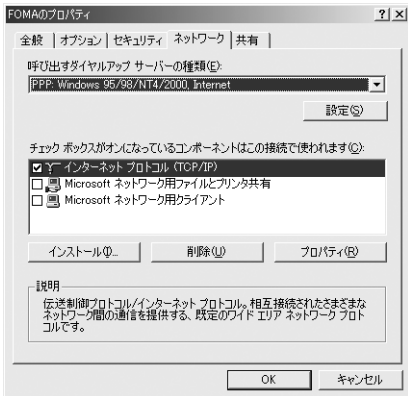
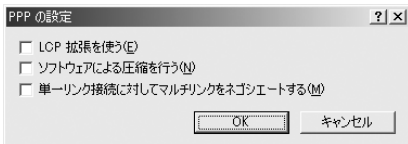
13 「インターネットメールアカウントのセットアップ」の画面で「いいえ」を選択して「次へ」をクリック

14 「完了」をクリック

15 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

16 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合:「接続の方法」で「モデム-FOMA F01B」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合:「接続の方法」で「モデム-(ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム)」または「モデム-(Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム)」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択(□)にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

17 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック

18 すべての項目を非選択（☐）にして「OK」をクリック

19 「OK」をクリック

通信を実行する→P30

ダイヤルアップ接続で通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows Vistaのとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P6
Bluetooth接続の場合→P12

2 (スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック

■ Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

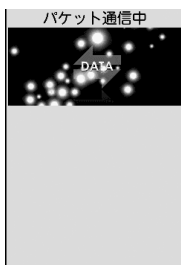
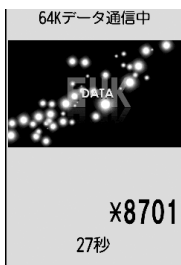
■ Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64K データ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ、通信が行えます。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows Vistaのとき

1 タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき

タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリック→「切断」をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から ⏎ を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBやBluetoothインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO ⏎」と入力します。

お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーで発信します。

ATコマンド一覧

- FOMA F01B（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P32
ATI<n> ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ↵ OK	リザルトコードを表示するかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	現在の設定を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定すると、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1 AT&S0 ↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W ↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n> ※2 AT＊DGANSM=0 ↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n> ※2 AT＊DGPIR=0 ↵ OK	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P22 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0 ※1 AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n> ※1 AT+CDIP=0 ↵ OK	着サブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	直前の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P38
AT+CGDCONT ※2 →P39	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P39

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN ※2 →P39	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P39
AT+CGEQREQ ※2 →P40	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P40
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n> ※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外　　stat=1：パケット圏内　　stat=4：不明 stat=5：パケット圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n> ※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信着信時、相手の発信者番号をパソコンに表示するかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する m=0：番号を通知しないNW設定 m=1：番号を通知するNW設定　　　m=2：不明 AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n> ※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信発信時の発信者番号通知を設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n> ※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P38「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号（2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーを表示） type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　　　n=1：マニュアル　　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	PIN1コードON時、PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外　stat=1：音声圏内　stat=4：不明 stat=5：音声圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※1 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS, +W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F01B OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n、m=0：フロー制御を行わない　n、m=1：XON/XOFFフロー制御を行う n、m=2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC：<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示（nはDCE by DTE、mはDTE by DCEの値を示す） AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+WS46=<n> ※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=12：GSMネットワーク　n=22：3Gネットワーク（FOMA） n=25：GSMおよび3Gネットワーク(FOMA)（お買い上げ時） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・(中略)・・・S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n> ※1 AT¥V0 ↵ OK	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
+++ +++(非表示) OK	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。

※1 &WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

● ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」（PPP接続）が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」（IP接続）が登録されています。
＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または7232
  ※ ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最大通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「7232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGEQMIN=2 ↵
  OK
  (2) 上り384kbps、下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,384,7232 ↵
  OK
  (3) 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGEQMIN=5,,384 ↵
  OK
  (4) 上りすべての速度、下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
  AT+CGEQMIN=6,,,7232 ↵
  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64～384kbps、下り64～7232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P34

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

- AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルやBluetooth機能で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
1

ATX1が設定されているとき

- ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
  接続完了時に、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>」の書式で表示します。
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  1 21
- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了時に、次の書式で表示します。
  「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>」※2
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/7232
  （mopera.ne.jpに、上り最大384kbps、下り最大7232kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  1 21 5

※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT¥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			